



iTERAN / AE

管理者権限不要設定マニュアル

【 第 1.7 版 】

2022 年 2 月 28 日

富士通 Japan 株式会社

目次	
1. はじめに (必ずお読みください)	1
2. 設定手順フロー	2
3. 【BMS】 【非 BMS】 【非 BMS/BMS 両方利用】 実行ファイル差替、プロパティ変更 (Windows 7 編)	3
3-1. iTERAN/AE 実行ファイルの差替え	3
3-2. iTERAN/AE 実行ファイルのプロパティ変更	4
4. 【BMS】 【非 BMS】 【非 BMS/BMS 両方利用】 アクセス許可の付与 (Windows 7 編)	9
4-1. iTERAN/AE のインストールフォルダにアクセス許可を付与する	9
5. 【非 BMS】 【非 BMS/BMS 両方利用】 レジストリキーへのアクセス許可の付与 (Windows 7 編)	15
5-1. iTERAN で利用するレジストリキーへのアクセス許可を付与する	15
6. 【BMS】 【非 BMS】 【非 BMS/BMS 両方利用】 実行ファイル差替、プロパティ変更 (Windows 8.1・10 編)	20
6-1. iTERAN/AE 実行ファイルの差替え	20
6-2. iTERAN/AE 実行ファイルのプロパティ変更	20
7. 【BMS】 【非 BMS】 【非 BMS/BMS 両方利用】 アクセス許可の付与 (Windows 8.1・10 編)	25
7-1. iTERAN/AE のインストールフォルダにアクセス許可を付与する	25
8. 【非 BMS】 【非 BMS/BMS 両方利用】 レジストリキーへのアクセス許可の付与 (Windows 8.1・10 編)	31
8-1. iTERAN で利用するレジストリキーへのアクセス許可を付与する	31
9. 【非 BMS】 【非 BMS/BMS 両方利用】 接続先設定のファイル設定情報確認/更新 (OS 共通設定)	37
9-1. 接続先設定のファイル設定情報を確認/更新する	37
10. iTERAN/AE 起動後の「プログラム互換性アシスタント」の表示について	45
10-1. iTERAN/AE 起動後の「プログラム互換性アシスタント」表示	45

1. はじめに（必ずお読みください）

本書は管理者権限を持たないユーザーアカウントで iTERAN/AE を正常に動作させるための手順を記載したマニュアルになります。

ご利用のチェーン（パターンファイル）により手順が異なります。ご利用のチェーンが **「BMS」** **「非 BMS」** **「非 BMS/BMS 両方利用」** のいずれに該当するか事前にご確認をお願い致します。

【BMS】（50 音順）

アークランドサカモト、イオン BMS1.3、イズミ、Olympic グループ、コープきんき店舗発注、コープきんき無店舗発注、コープこうべ、コープこうべ【宅配】、コープデリ、ジーフット、J X 手順_T F 6 G 接続限定用、J X 手順_T F 6 G・他社 E D I 用、(新)ダイエー、西友、7&i 生鮮外業務、田原屋 BMS、日生協 BMS、パルシステム、マックスバリュ西日本、メガスポーツ、ヨークベニマル、ヨークマート

【非 BMS】

ジョイフル本田

- ※ 利用 OS により設定方法・画面構成が若干異なります。各利用 OS の手順に従い設定を行ってください。
- ※ 本書に記載している画面例は「Windows 7 Ultimate」32 ビット版、「Windows 10 Pro」64 ビット版になります。他エディションの場合、動作・表示が若干異なる場合があります。
- ※ Windows 8.1 をご利用の場合、画面構成が若干異なりますが「Windows 8.1・10 編」を参照の上、設定を行ってください。

【重要】

当手順では Windows のレジストリを編集する必要があります。当操作を誤ると iTERAN/AE だけでなく、Windows 自体が動作しなくなる可能性がありますので、必ず貴社システム管理者の方が行うようにしてください。

- ※ レジストリの編集前にはバックアップを取得することをお勧めします。
レジストリのバックアップ方法については Microsoft のサポートページ（WEB）をご確認ください。
- ※ レジストリの編集によって起きた障害（Windows が正常に動作しなくなった等）につきましては弊社でサポートしかねますので、ご了承ください。

2. 設定手順フロー

①実行ファイルの差し替えを行う **【BMS】【非 BMS】【非 BMS/BMS 両方利用】**

管理者権限不要ユーザ起動用の iTERAN/AE 実行ファイルに差し替えます。

- ⇒ Windows 7 の場合 「3-1. 実行ファイルの差し替え」
- ⇒ Windows 8.1、10 の場合 「6-1. 実行ファイルの差し替え」



②実行ファイルプロパティの変更を行う **【BMS】【非 BMS】【非 BMS/BMS 両方利用】**

管理者権限不要ユーザ起動用実行ファイルのプロパティの確認と変更を実施します。

- ⇒ Windows 7 の場合 「3-2. 実行ファイルのプロパティ変更」
- ⇒ Windows 8.1、10 の場合 「6-2. 実行ファイルのプロパティ変更」



③インストールフォルダのアクセス許可を付与する **【BMS】【非 BMS】【非 BMS/BMS 両方利用】**

iTERAN/AE インストールフォルダに利用するユーザのアクセス許可を設定します。

- ⇒ Windows 7 の場合 「4. アクセス許可の付与」
- ⇒ Windows 8.1、10 の場合 「7. アクセス許可の付与」



④レジストリキーへのアクセス許可を付与する **【非 BMS】【非 BMS/BMS 両方利用】**

レジストリキーに利用するユーザのアクセス許可を設定します。

- ⇒ Windows 7 の場合 「5. レジストリキーへのアクセス許可の付与」
- ⇒ Windows 8.1、10 の場合 「8. レジストリキーへのアクセス許可の付与」



⑤接続先設定のファイル設定情報確認/更新する **【非 BMS】【非 BMS/BMS 両方利用】**

接続先のファイル設定情報を確認/更新します。

- ⇒ 「9. 接続先設定のファイル設定情報確認/更新」
- ※Windows 7、8.1、10 共通となります。

3. **【BMS】【非 BMS】【非 BMS/BMS 両方利用】** 実行ファイル差替、プロパティ変更 (Windows 7 編)

以下の作業は管理者権限を持つユーザで実施してください。

3-1. iTERAN/AE 実行ファイルの差替え

3-1-1. ご利用の iTERAN/AE のバージョンを確認します。

iTERAN/AE を起動し、TOP 画面左上に表示されているバージョン先頭の数字が「7」または「8」になっていることを確認します。



バージョン番号の先頭が「7」または「8」になっている場合は「3-1-2」へお進みください。
「7」または「8」以外の場合は、以下マニュアルに従いアップグレードの実施後、「3-1-2」へお進みください。

<http://www.iteran.jp/download/main/newestGuide.pdf>

3-1-2. 管理者権限不要設定用バージョンアップツールを実行して iTERAN/AE 実行ファイルを差替えます。
以下 URL からダウンロードして実行してください。

http://www.iteran.jp/download/verup/verup_noAdmin.zip

※ダウンロード後に解凍し、解凍されたフォルダ内の「IT2verup.exe」を実行してください。

※現在、最新バージョンの iTERAN/AE をご利用の場合も必ず実行してください。

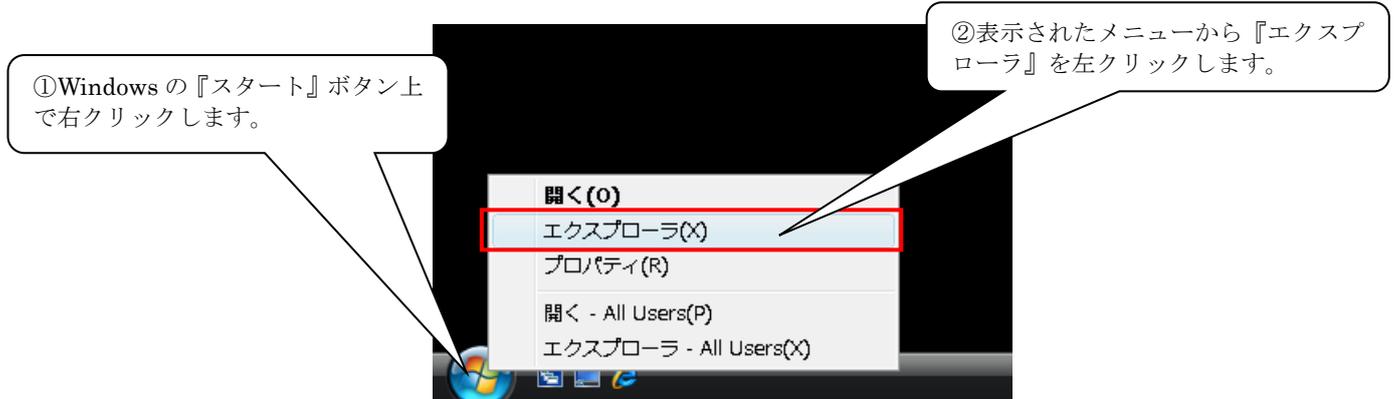
3-1-3. PCを再起動してください。

※再起動を行わないと、実行ファイルの差替えが有効にならない場合があります。

3-2. iTERAN/AE 実行ファイルのプロパティ変更

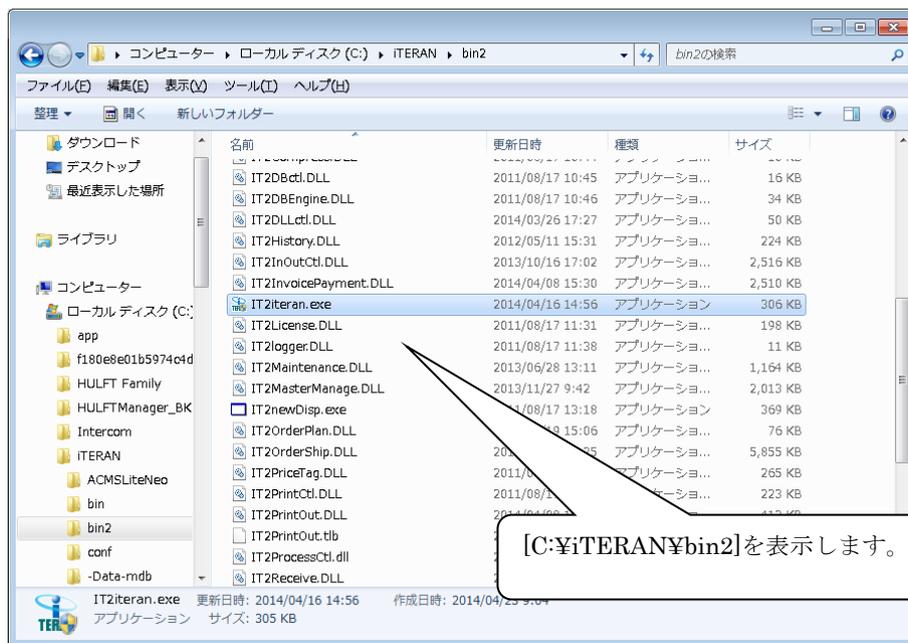
3-2-1. エクスプローラを起動します。

Windows の「スタート」ボタン上で右クリックし、表示されたメニューから「エクスプローラ」をクリックします。

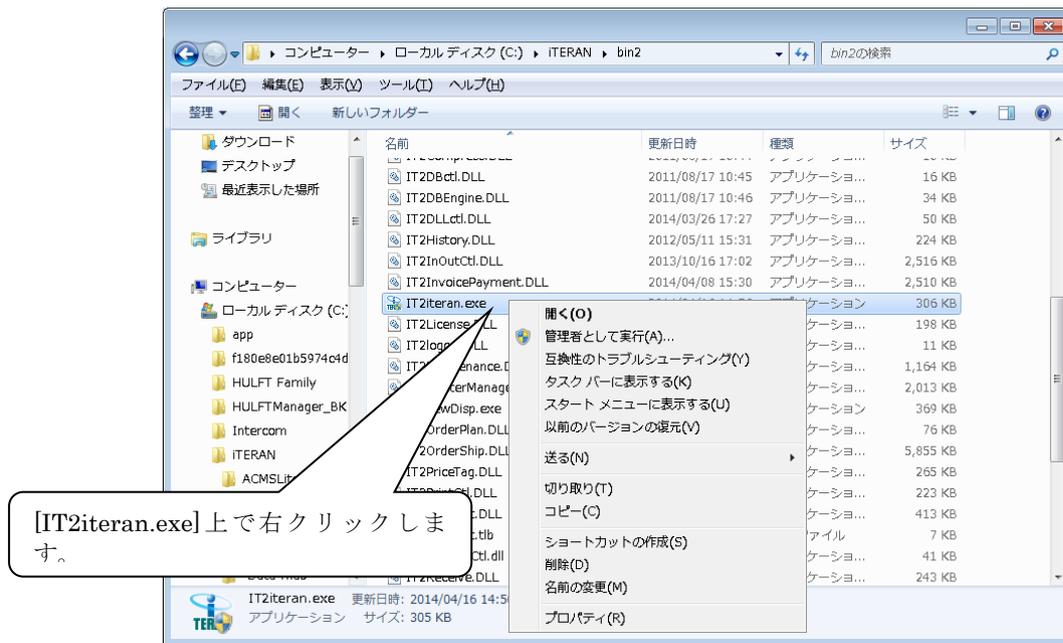


3-2-2. 表示されたエクスプローラから iTERAN/AE のインストールフォルダ内の[bin2]フォルダを選択します。

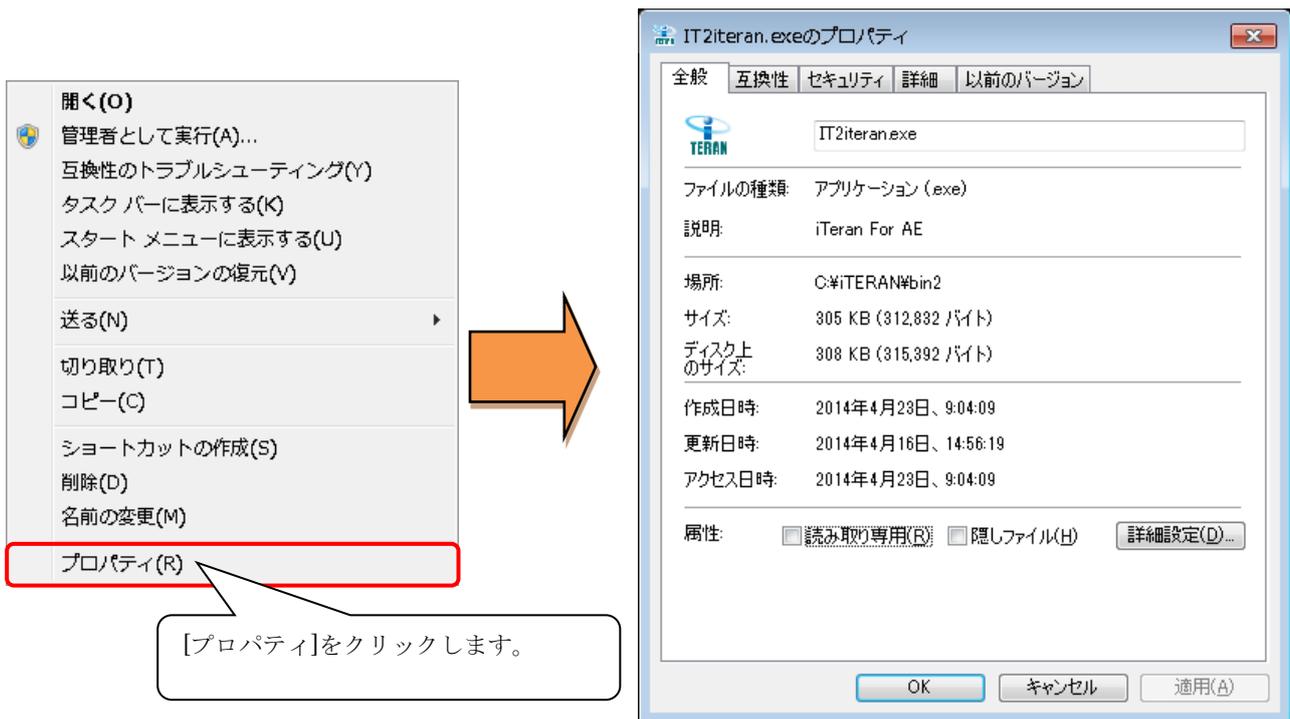
※ iTERAN/AE の場合のインストール場所「C:¥iTERAN」



3-2-3. [bin2]フォルダ内の[IT2iteran.exe]上で右クリックしメニューを表示します。



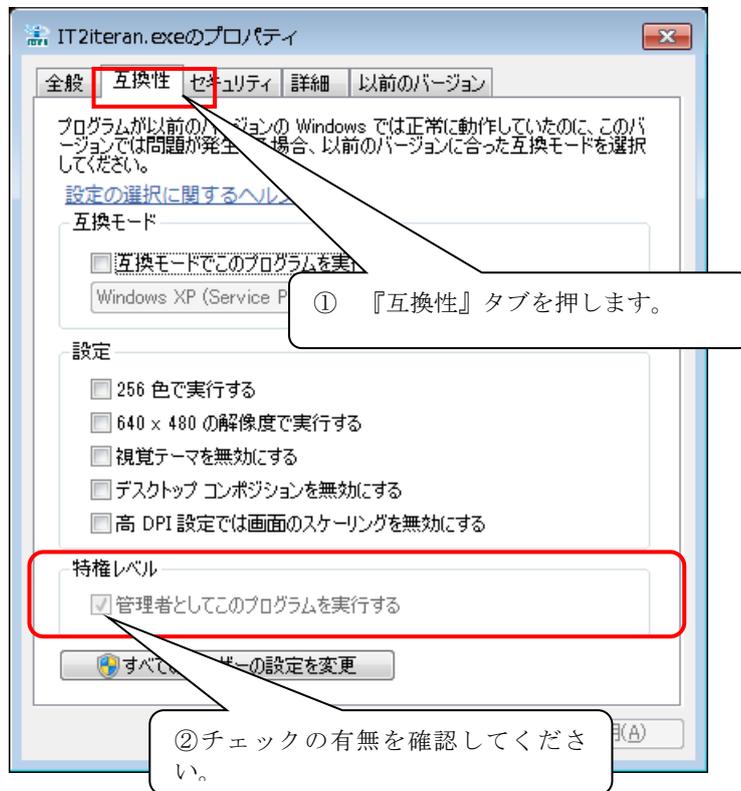
3-2-4. 右クリックメニュー内の「プロパティ」をクリックし、プロパティを表示します。



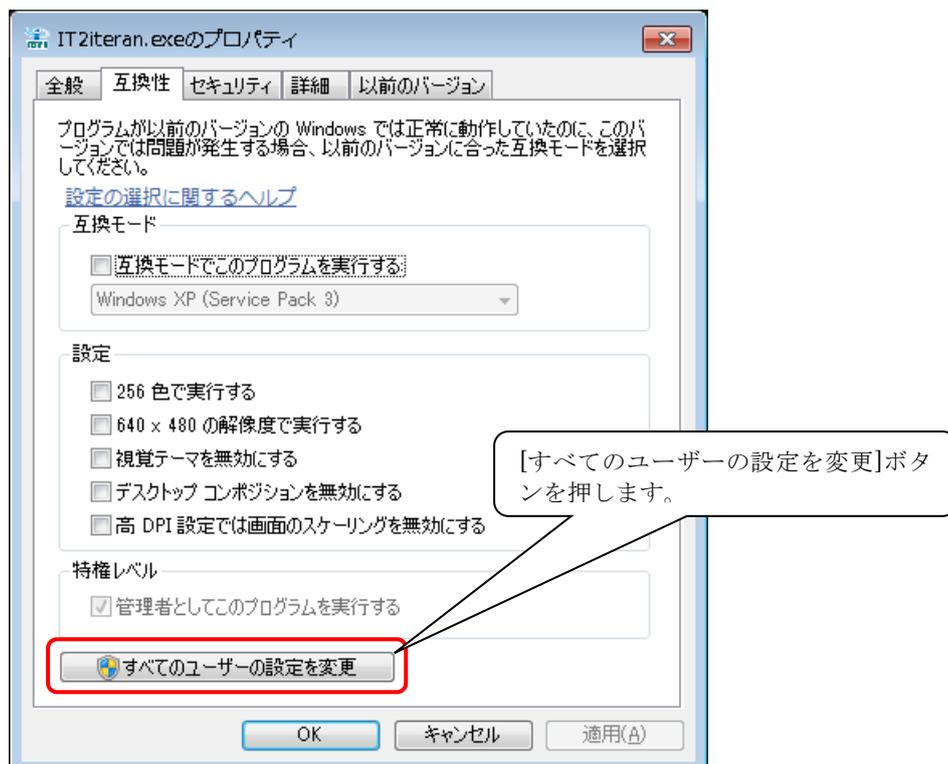
3-2-5. 「互換性」タブをクリックします。

「互換性」タブ内「特権レベル」の「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックされている場合は「3-2-6」へお進みください。

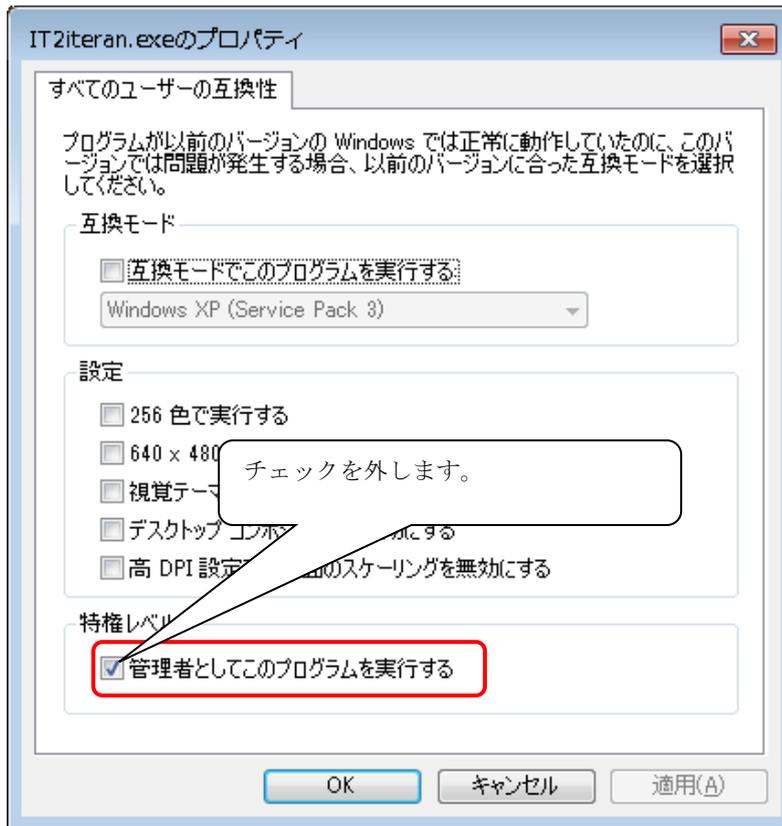
チェックされていない場合は「キャンセル」ボタンを押下し「4. iTERAN/AE のアクセス許可の付与 (Windows 7 編)」へお進みください。



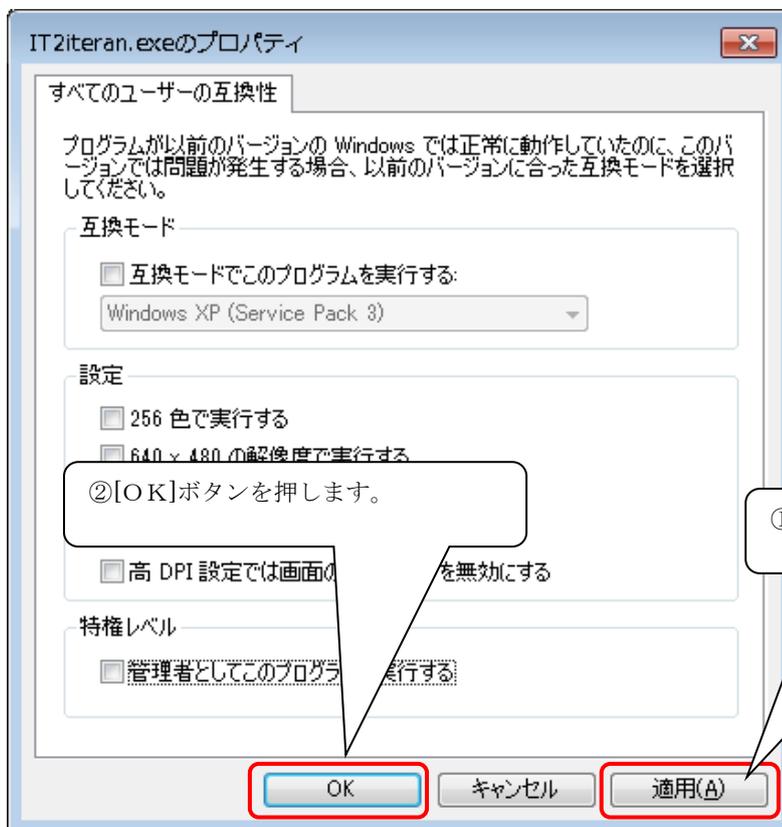
3-2-6. 「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンを押下します。



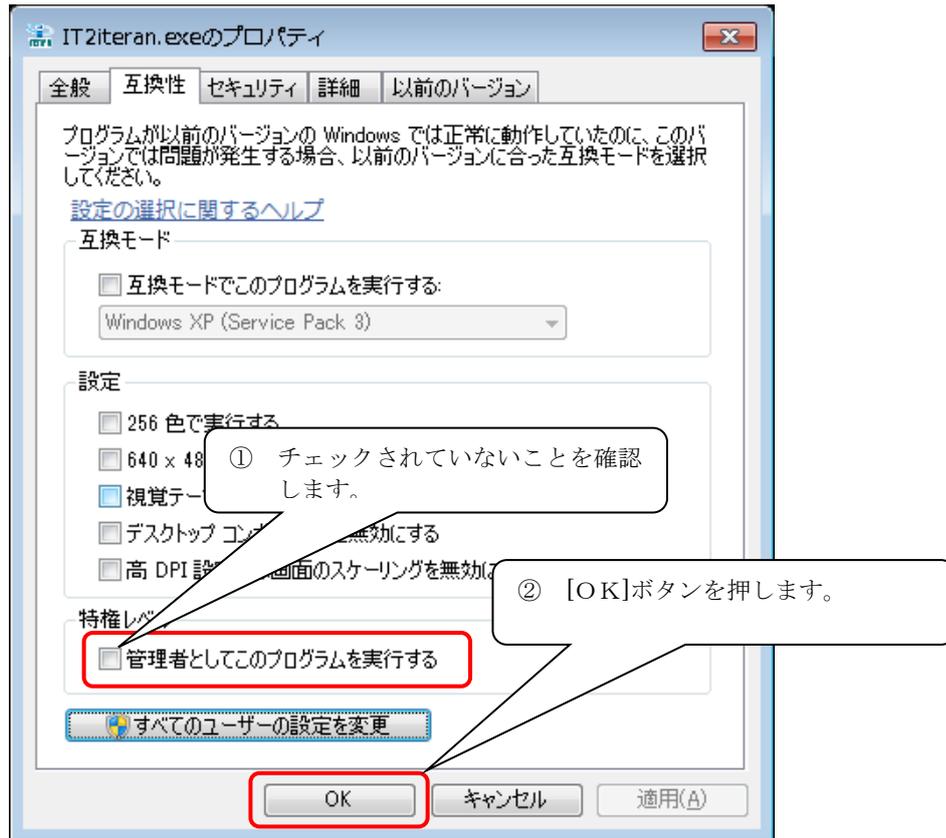
3-2-7. 「特権レベル」の「管理者としてこのプログラムを実行する」のチェックを外します。



3-2-8. 「適用」ボタンを押下後に「OK」ボタンを押下し当画面を閉じます。



3-2-9. 「特権レベル」の「管理者としてこのプログラムを実行する」のチェックが外れていることを確認し「OK」ボタンを押下します。



以上で「iTERAN/AE 実行ファイルのプロパティ変更」は完了です。

4. 【BMS】【非 BMS】【非 BMS/BMS 両方利用】 アクセス許可の付与 (Windows 7 編)

以下の作業は管理者権限を持つユーザで実施してください。

4-1. iTERAN/AE のインストールフォルダにアクセス許可を付与する

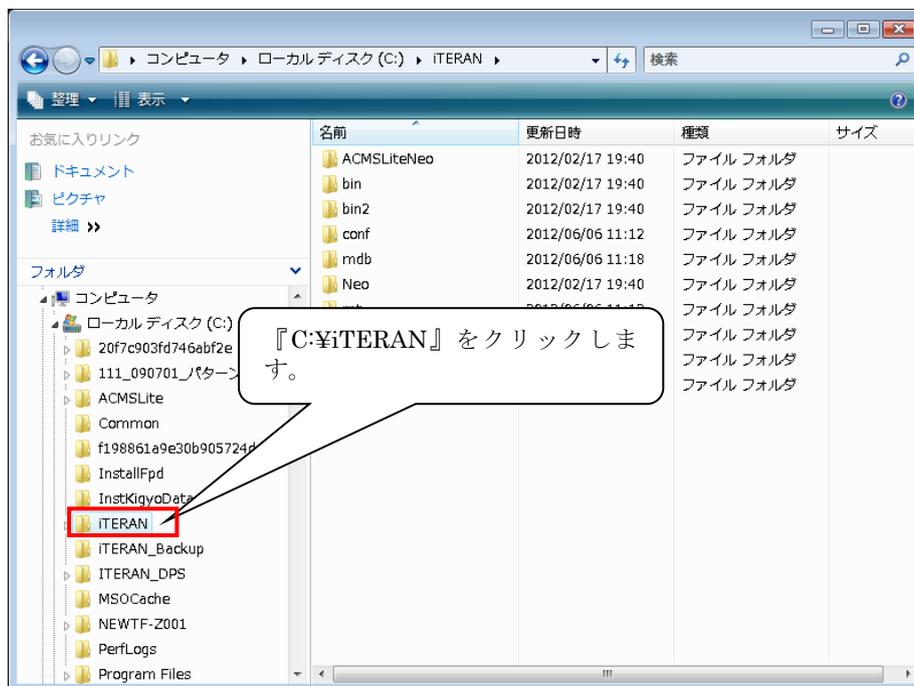
4-1-1. エクスプローラを起動します。

Windows の「スタート」ボタン上で右クリックし、表示されたメニューから「エクスプローラ」を左クリックします。



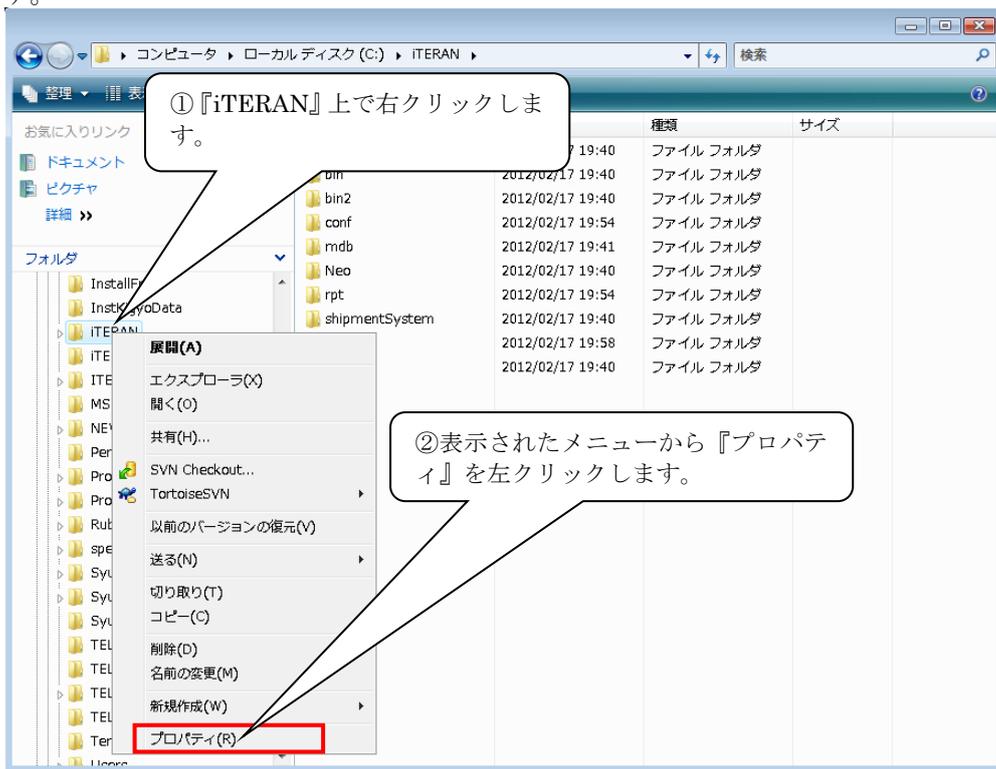
4-1-2. 表示されたエクスプローラから iTERAN/AE のインストールフォルダを選択します。

※ iTERAN/AE の場合のインストール場所「C:¥iTERAN」



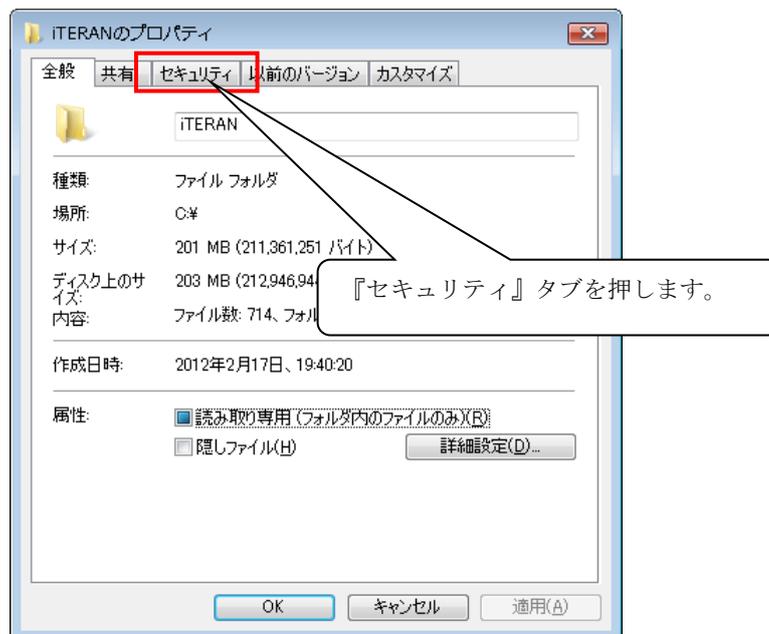
4-1-3. インストールフォルダのプロパティを開きます。

インストールフォルダ上で右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。

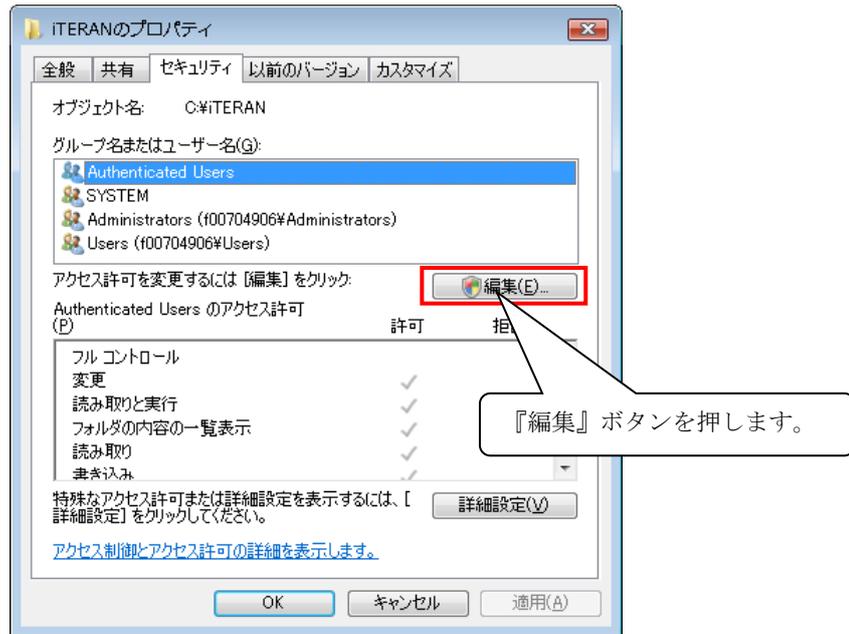


4-1-4. 「iTERAN」フォルダのプロパティウィンドウが開きます。

「セキュリティ」タブを押下します。



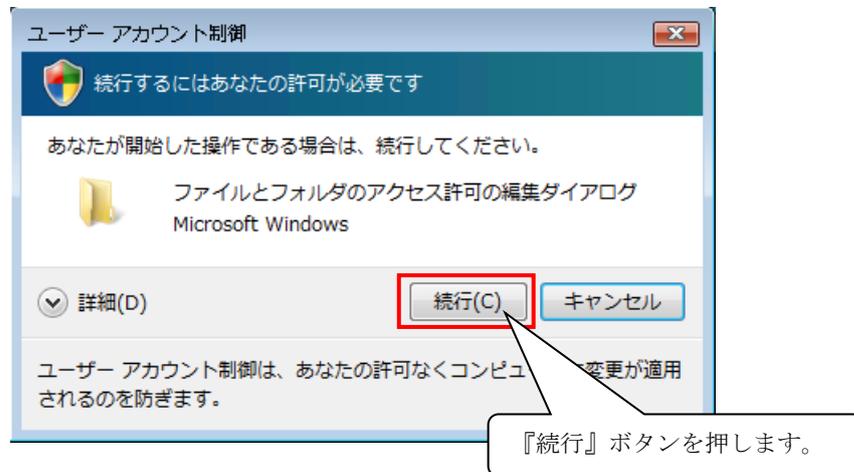
4-1-5. 「セキュリティ」タブ内の「編集」ボタンを押下します。



4-1-6. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

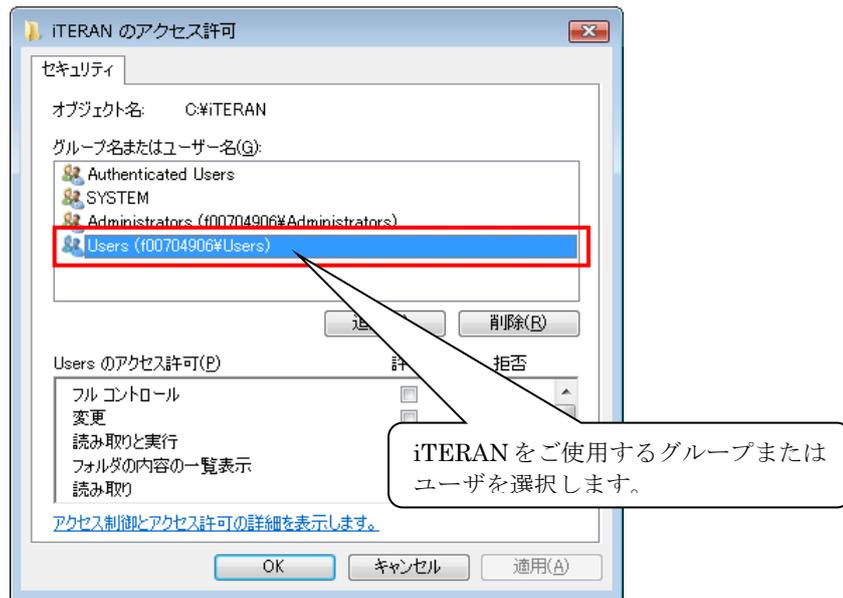
「続行」ボタンを押下してください。

※ 設定により表示されないことがあります。

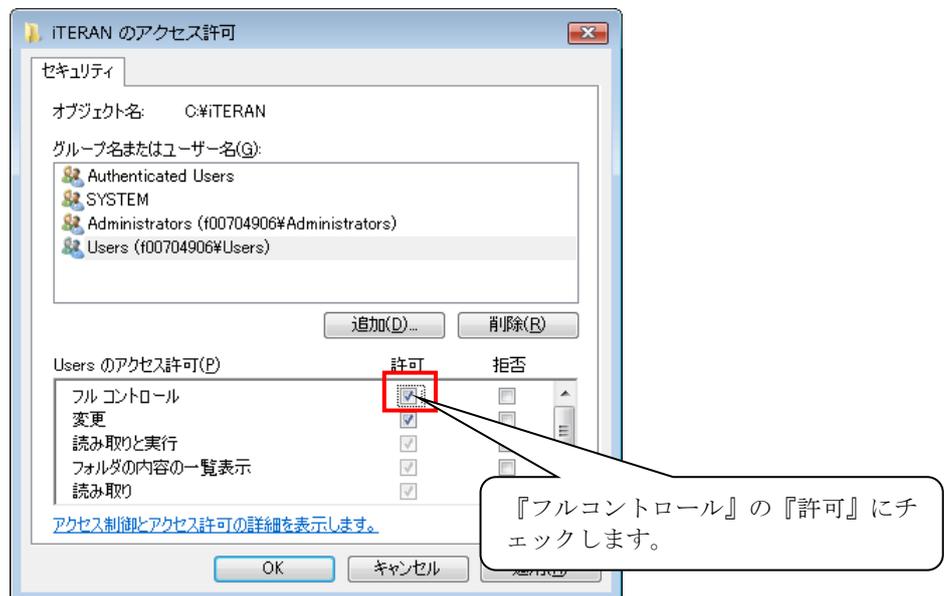


4-1-7. 「iTERAN のアクセス許可」 ウィンドウが表示されます。

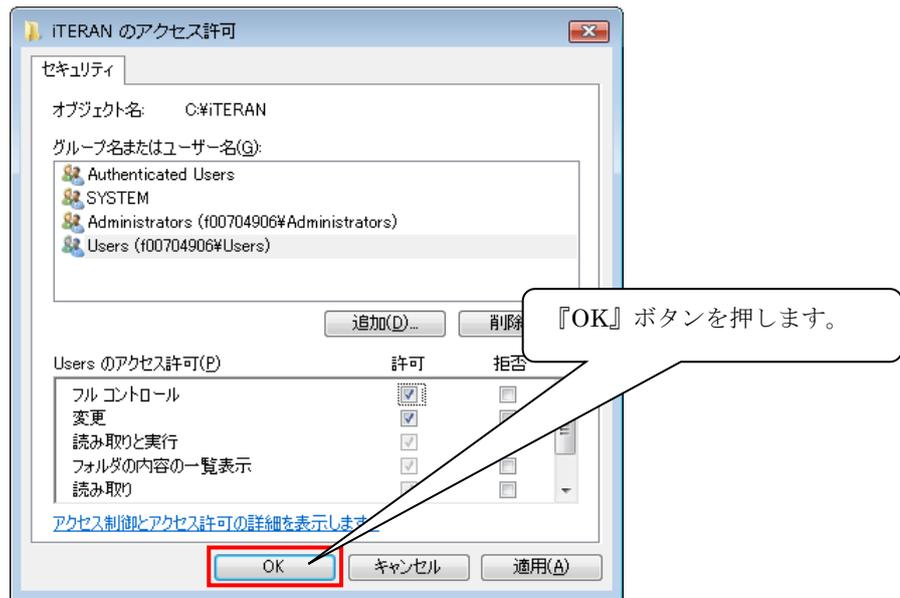
「グループ名またはユーザー名」 から iTERAN を使用するグループまたはユーザーを選択します。



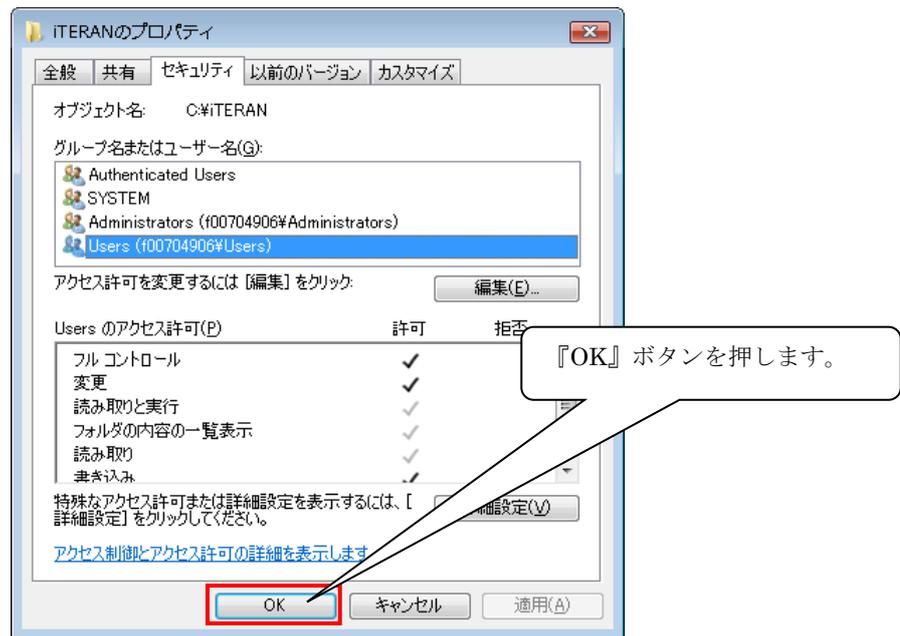
4-1-8. 「○○のアクセス許可」 から[フルコントロール]の「許可」にチェックします。



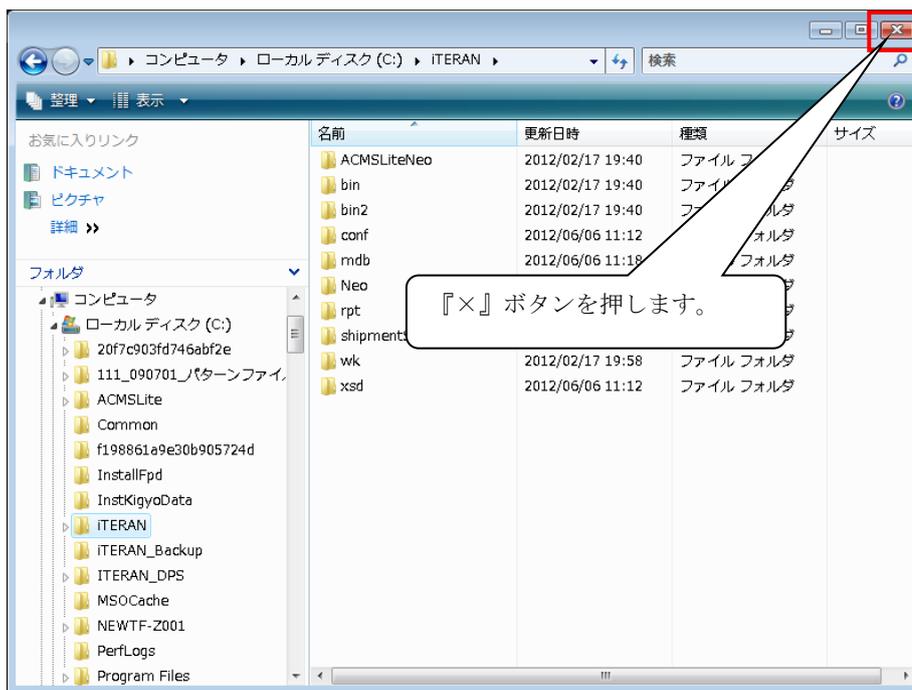
4-1-9. 「OK」ボタンを押下し、「iTERAN のアクセス許可」ウィンドウを閉じます。



4-1-10. 「OK」ボタンを押下し、「iTERAN」フォルダのプロパティウィンドウを閉じます。



4-1-11. 「エクスプローラ」を閉じます。



以上で「iTERAN/AE のインストールフォルダにアクセス許可を付与する」は完了です。

5. 【非 BMS】【非 BMS/BMS 両方利用】レジストリキーへのアクセス許可の付与（Windows 7 編）

【BMS】のみをご利用の場合、当手順は行って頂く必要はありません。

【重要】

当手順では Windows のレジストリを編集する必要があります。当操作を誤ると iTERAN/AE だけでなく、Windows 自体が動作しなくなる可能性がありますので、必ず貴社システム管理者の方が行うようにしてください。

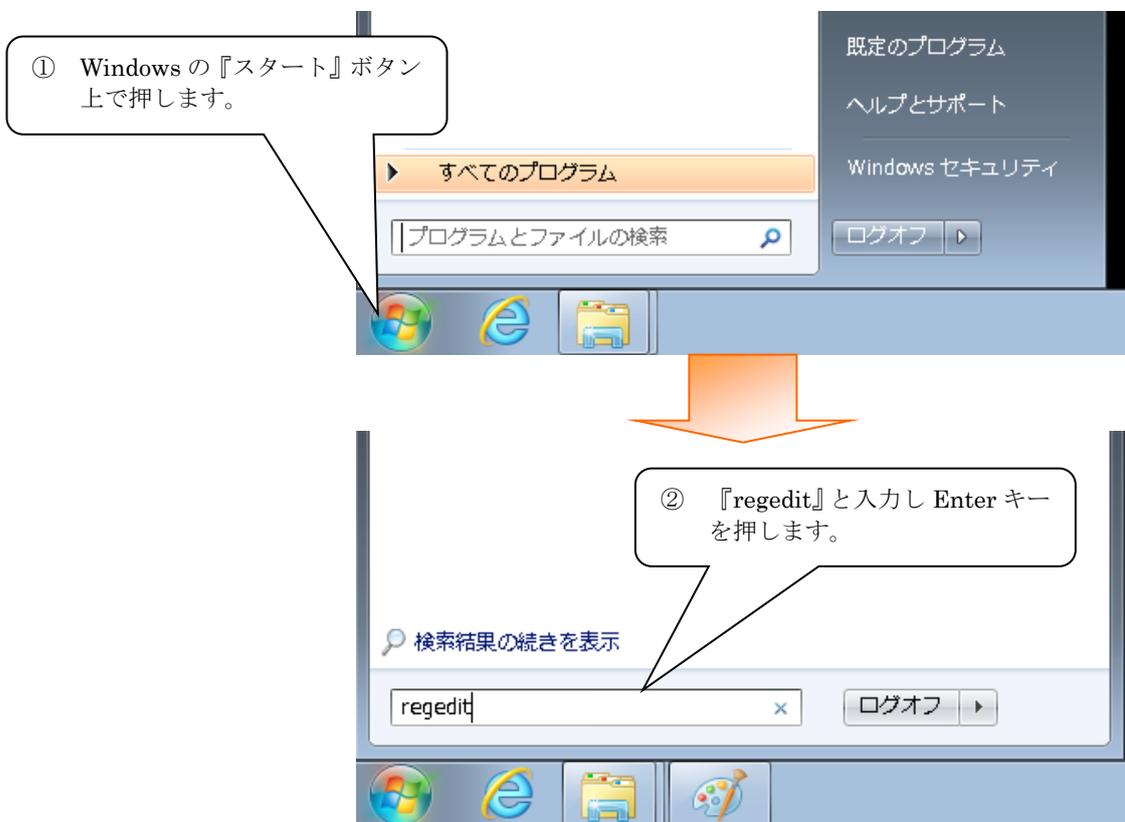
- ※ レジストリの編集前にはバックアップを取得することをお勧めします。
バックアップ方法については Microsoft のサポートページ（WEB）をご確認ください。
- ※ レジストリの編集によって起きた障害（Windows が正常に動作しなくなった等）につきましては弊社でサポートしかねますので、ご了承ください。

以下の作業は管理者権限を持つユーザで実施してください。

5-1. iTERAN で利用するレジストリキーへのアクセス許可を付与する

5-1-1. レジストリエディタを起動します。

Windows の「スタート」ボタンを押下し、表示されたメニュー下部にある「プログラムとファイルの検索」に「regedit」と入力し Enter キーを押下します。



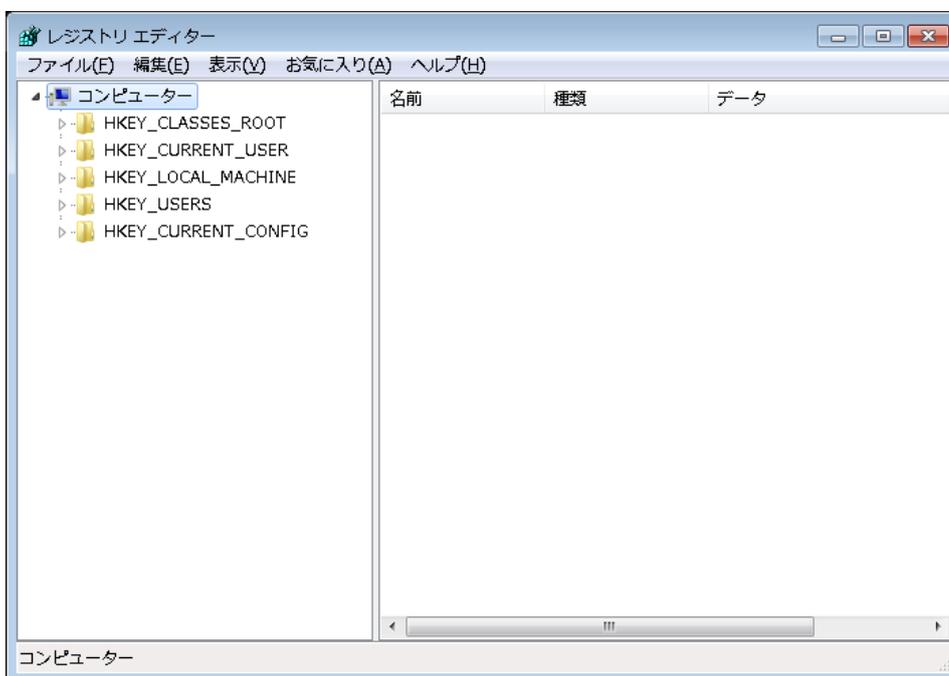
5-1-2. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

「はい」 ボタンを押下してください。

※ 設定により表示されないことがあります。



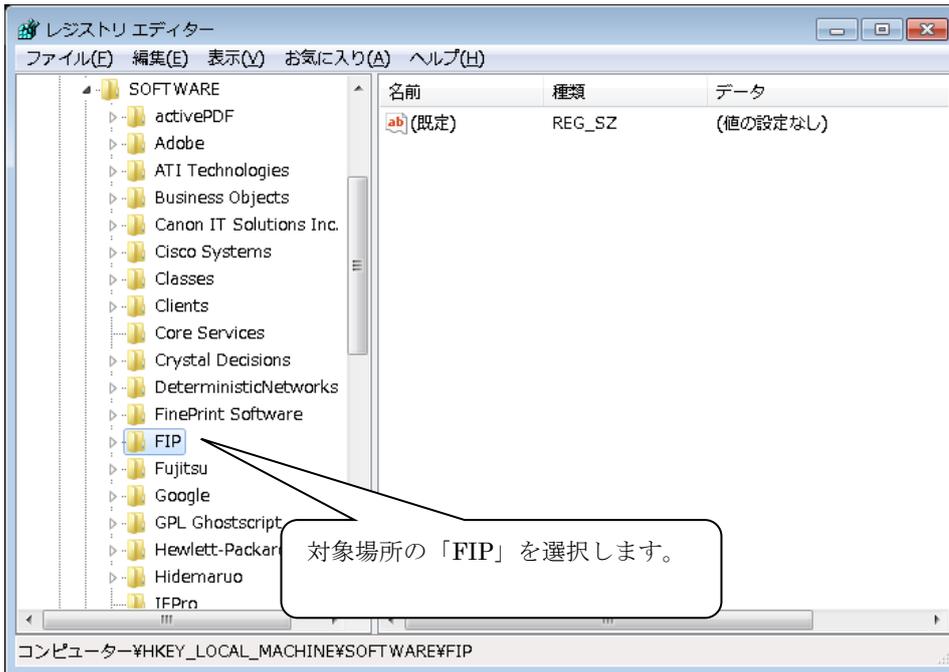
5-1-3. レジストリエディタウィンドウが表示されます。



5-1-4. レジストリエディタの左側のツリーから以下のキーを選択します。

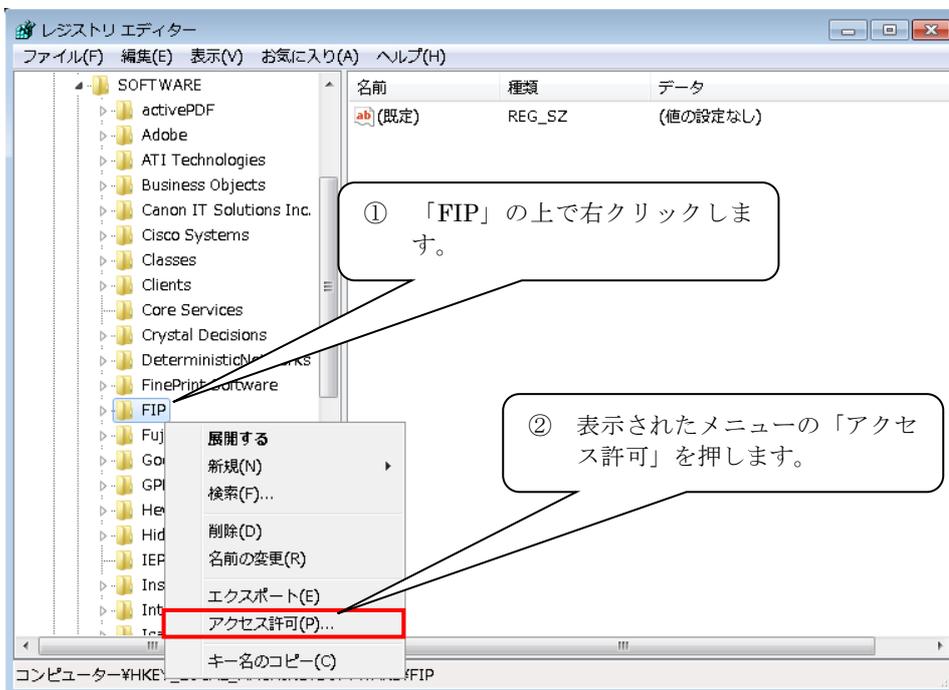
32 ビット版OS の場合 : HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥FIP

64 ビット版OS の場合 : HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥FIP



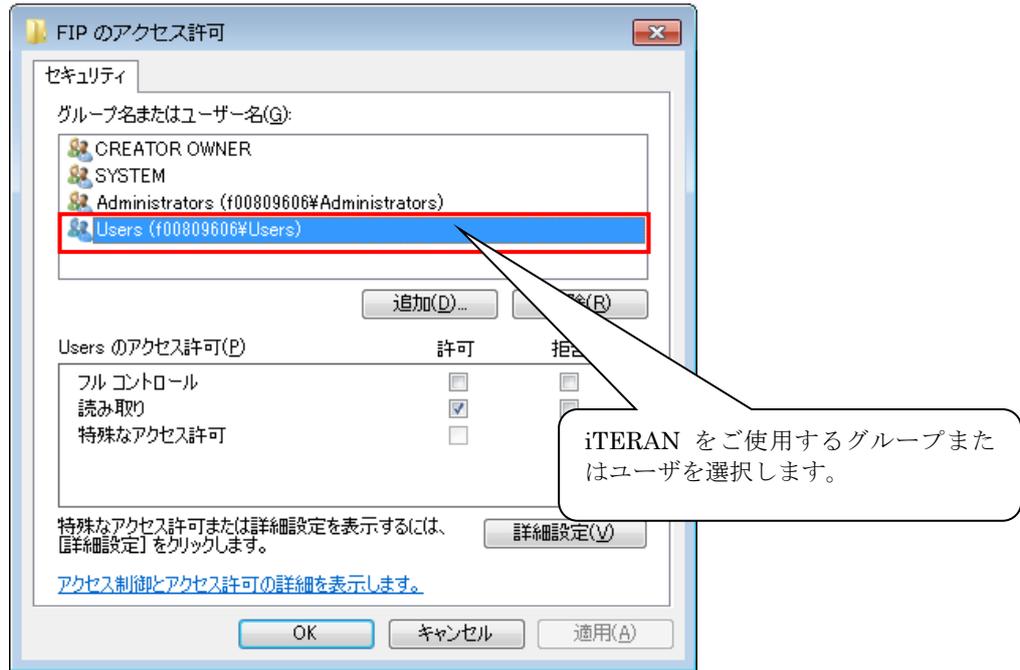
5-1-5. 選択したキー「FIP」上で右クリックしメニューを表示します。

表示されたメニューの「アクセス許可」を押下します。

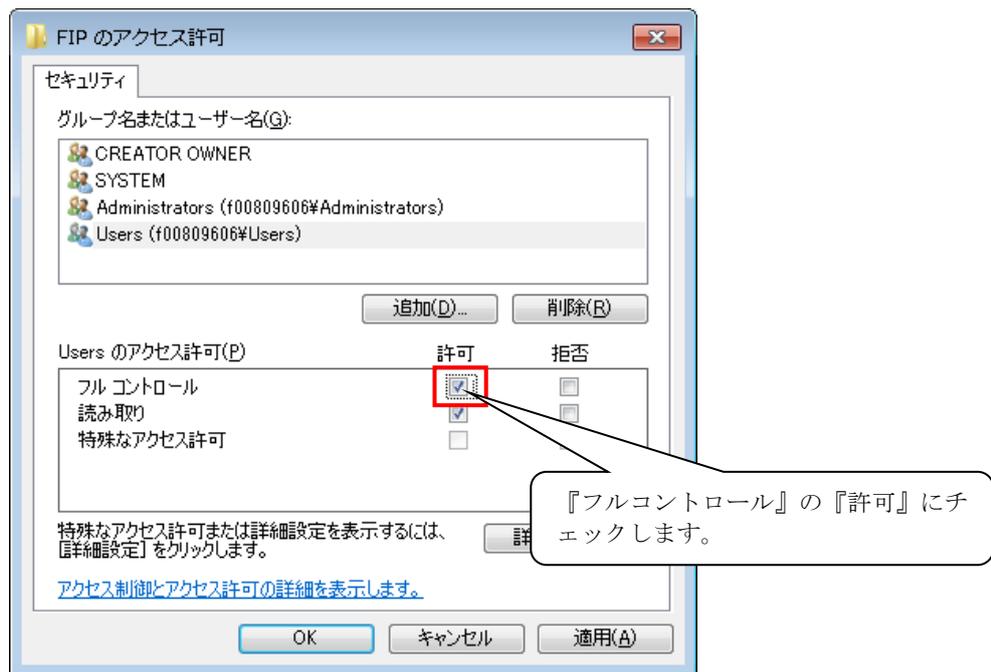


5-1-6. 「FIP のアクセス許可」 ウィンドウが表示されます。

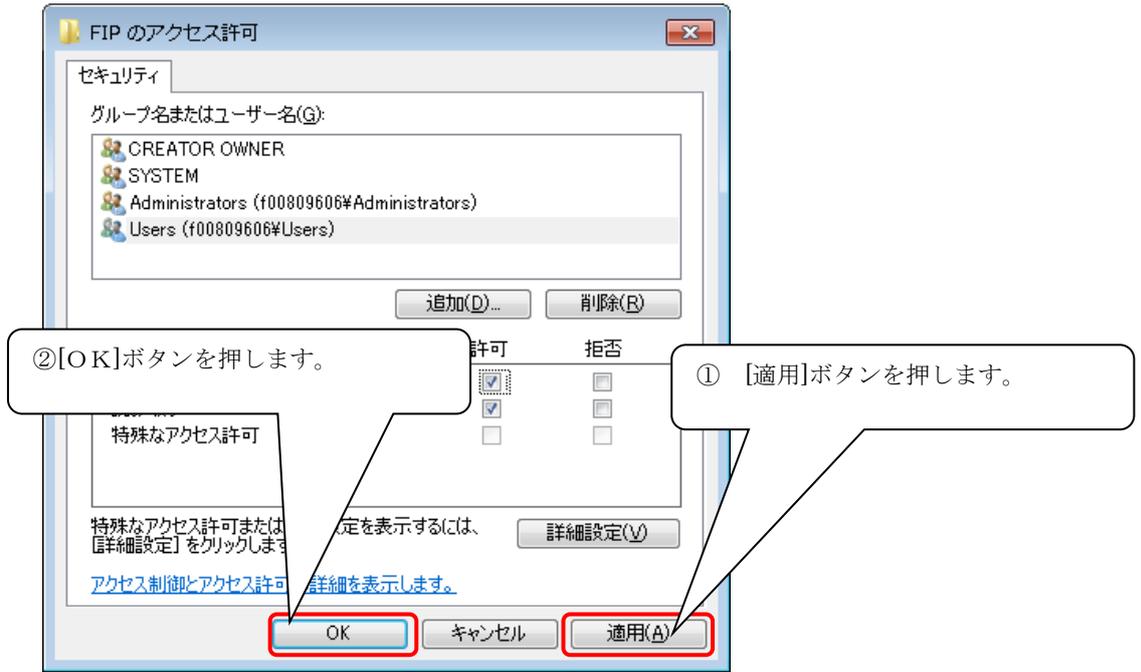
「グループ名またはユーザー名」 から iTERAN を使用するグループまたはユーザーを選択します。



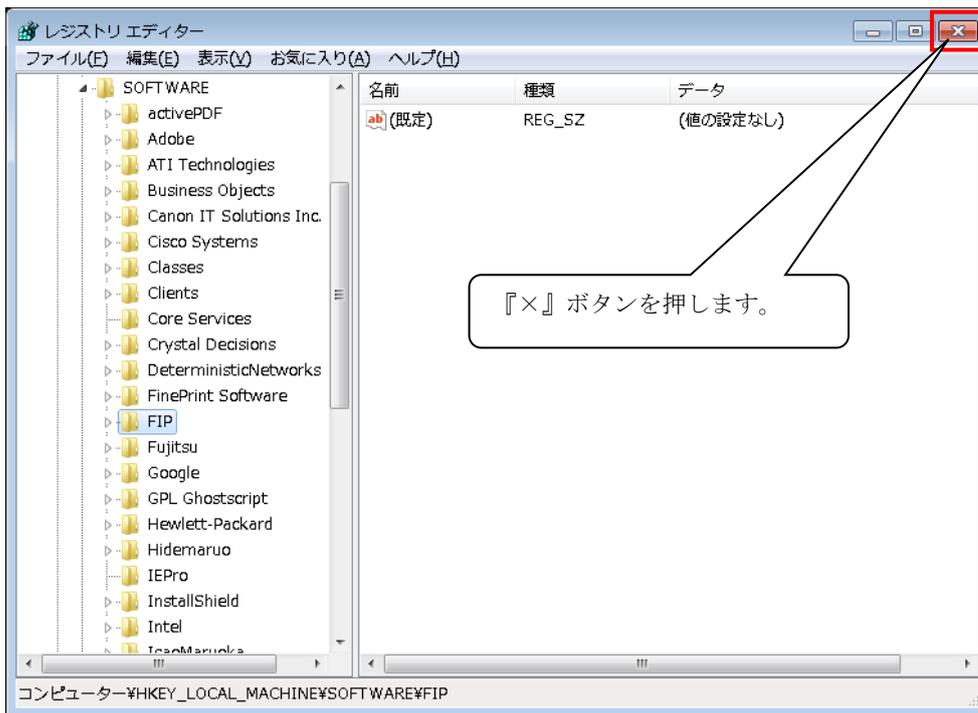
5-1-7. 「〇〇のアクセス許可」 から[フルコントロール]の「許可」にチェックします。



5-1-8. 「適用」 ボタンを押下後に「OK」 ボタンを押下し当画面を閉じます。



5-1-9. レジストリエディタを閉じます。



以上で「レジストリキーへのアクセス許可の付与」は完了です。

6. 【BMS】【非 BMS】【非 BMS/BMS 両方利用】実行ファイル差替、プロパティ変更 (Windows 8.1・10 編)

以下の作業は管理者権限を持つユーザーで実施してください。

6-1. iTERAN/AE 実行ファイルの差替え

6-1-1. 管理者権限不要設定用バージョンアップツールを実行して iTERAN/AE 実行ファイルを差替えます。
以下 URL からダウンロードして実行してください。

http://www.iteran.jp/download/verup/verup_noAdmin.zip

※ダウンロード後に解凍し、解凍されたフォルダ内の「IT2verup.exe」を実行してください。

※現在、最新バージョンの iTERAN/AE をご利用の場合も必ず実行してください。

6-2. iTERAN/AE 実行ファイルのプロパティ変更

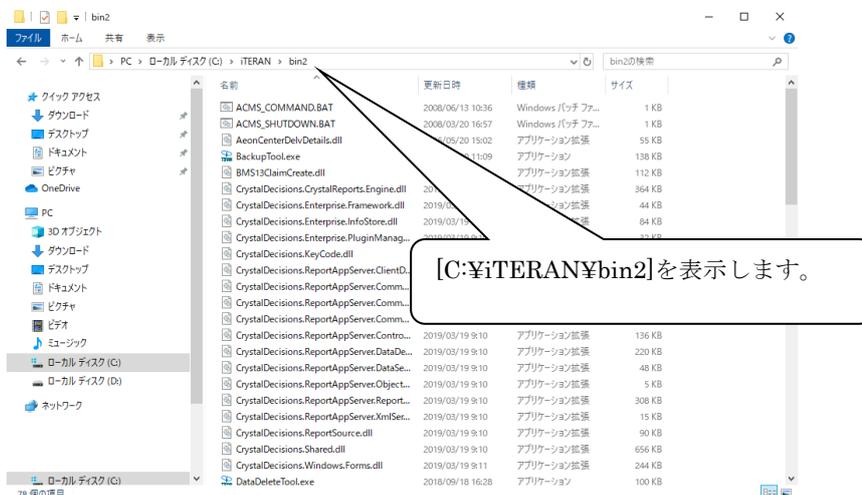
6-2-1. エクスプローラを起動します。

[デスクトップ]の Windows 「スタート」 ボタン上で右クリックし、表示されたメニューから「エクスプローラ」をクリックします。

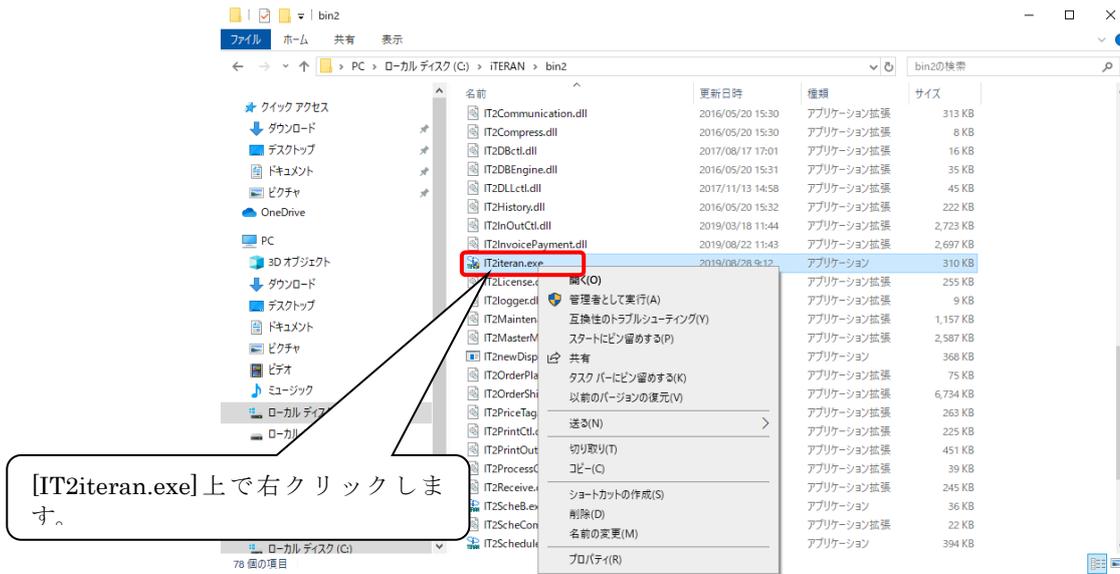


6-2-2. 表示されたエクスプローラから iTERAN/AE のインストールフォルダ内の[bin2]フォルダを選択します。

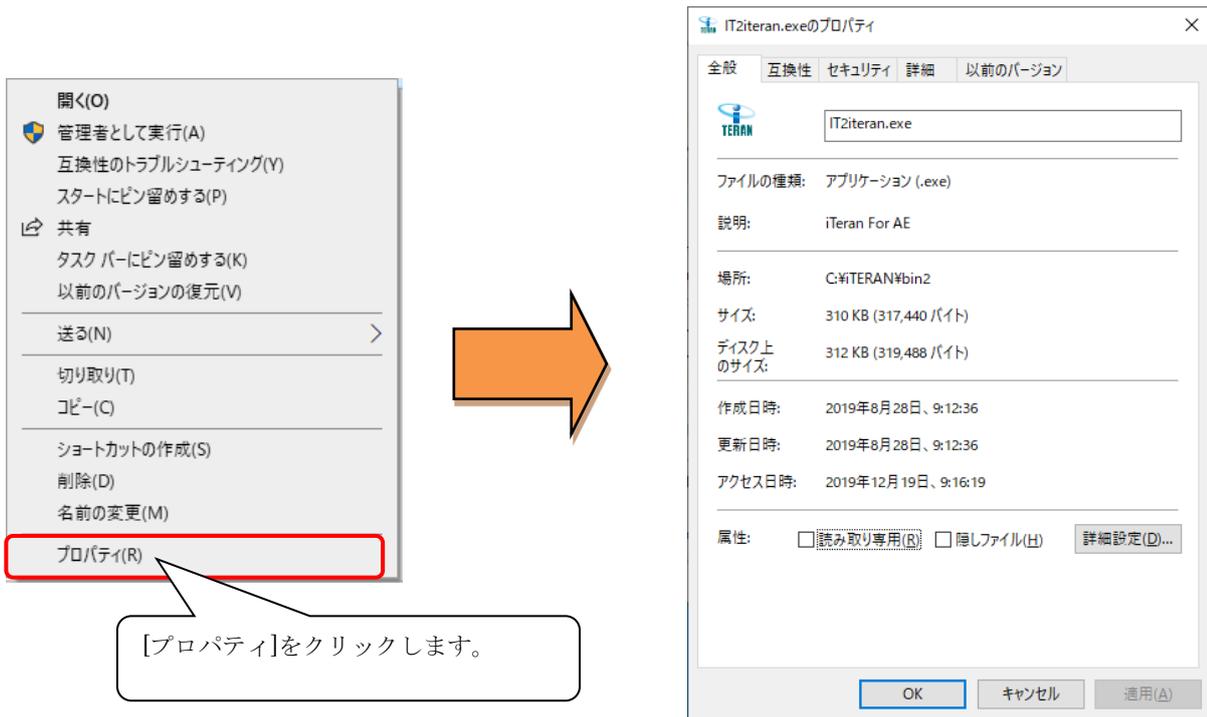
※ iTERAN/AE の場合のインストール場所「C:¥iTERAN」



6-2-3. [bin2]フォルダ内の[IT2iteran.exe]上で右クリックしメニューを表示します。



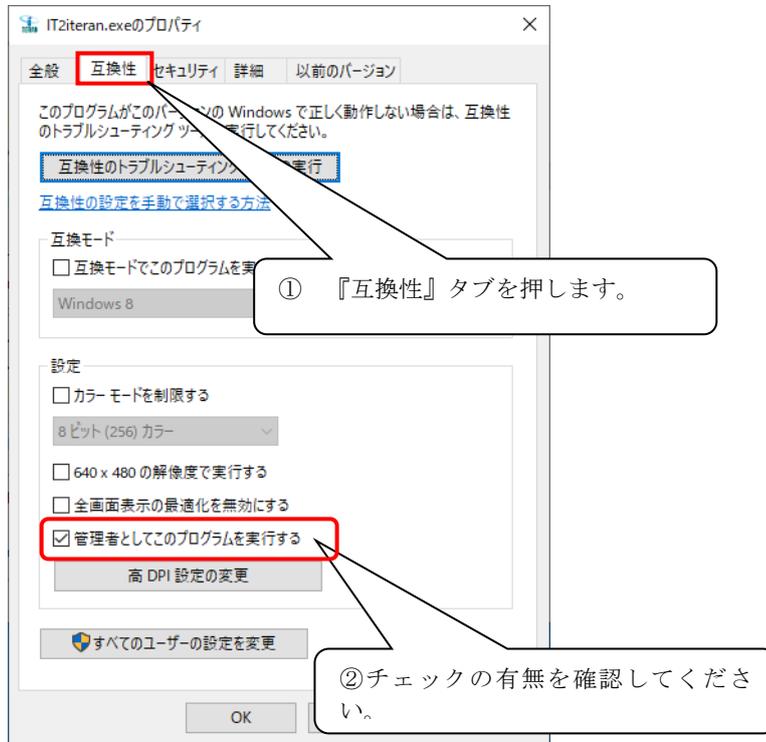
6-2-4. 右クリックメニュー内の「プロパティ」をクリックし、プロパティを表示します。



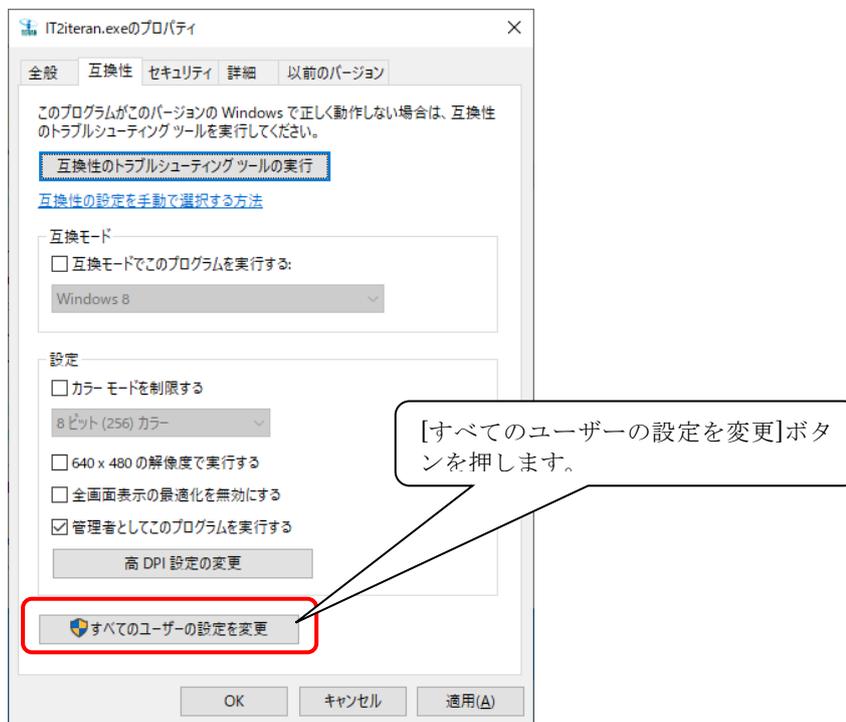
6-2-5. 「互換性」タブをクリックします。

「互換性」タブ内「設定」の「管理者としてこのプログラムを実行する」に
チェックされている場合は「5-2-6」へお進みください。

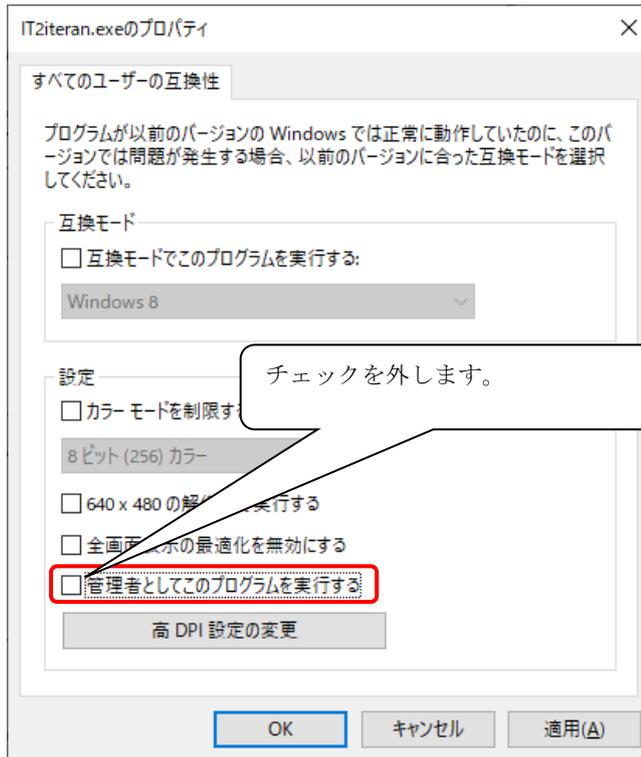
チェックされていない場合は「キャンセル」を押下し「6. iTERAN/AE のアクセス許可の付与
(Windows 8.1 編)」へお進みください。



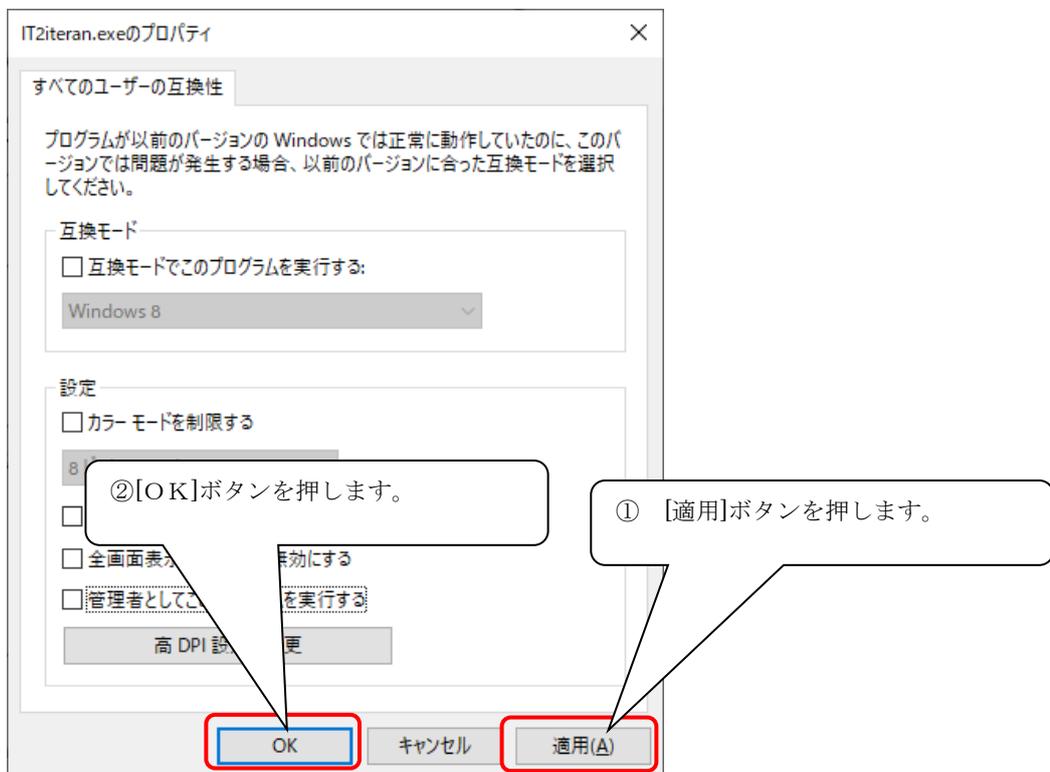
6-2-6. 「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンを押下します。



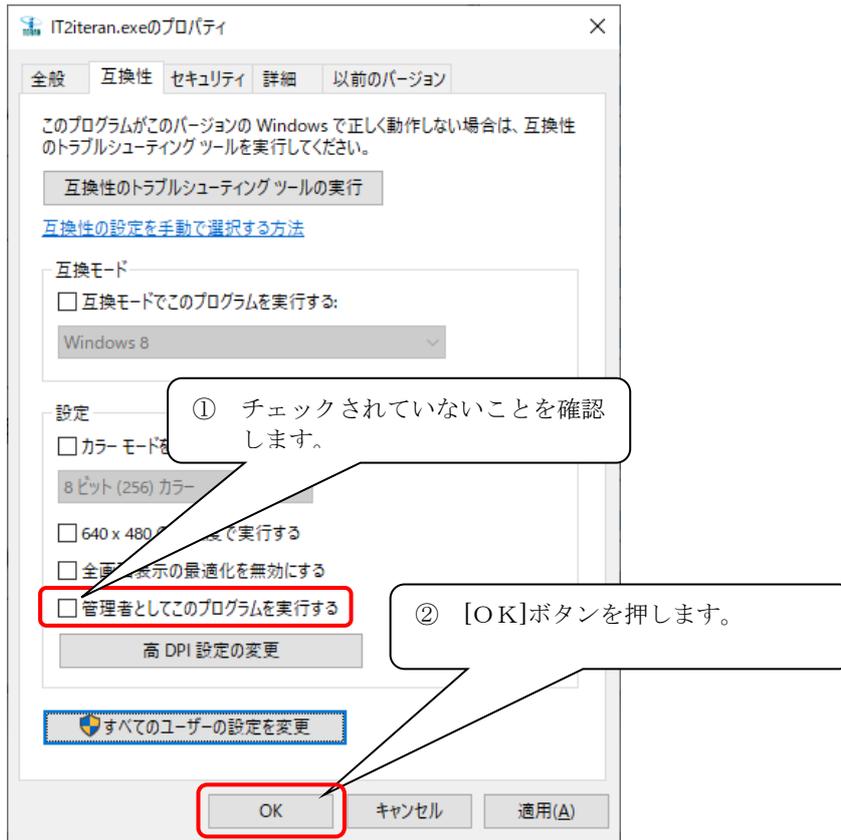
6-2-7. 「設定」の「管理者としてこのプログラムを実行する」のチェックを外します。



6-2-8. 「適用」ボタンを押下後に「OK」ボタンを押下し当画面を閉じます。



6-2-9. 「設定」の「管理者としてこのプログラムを実行する」のチェックが外れていることを確認し「OK」ボタンを押下します。



以上で「iTERAN/AE 実行ファイルのプロパティ変更」は完了です。

7. **[BMS] [非 BMS] [非 BMS/BMS 両方利用]** アクセス許可の付与 (Windows 8.1・10 編)

以下の作業は管理者権限を持つユーザで実施してください。

7-1. iTERAN/AE のインストールフォルダにアクセス許可を付与する

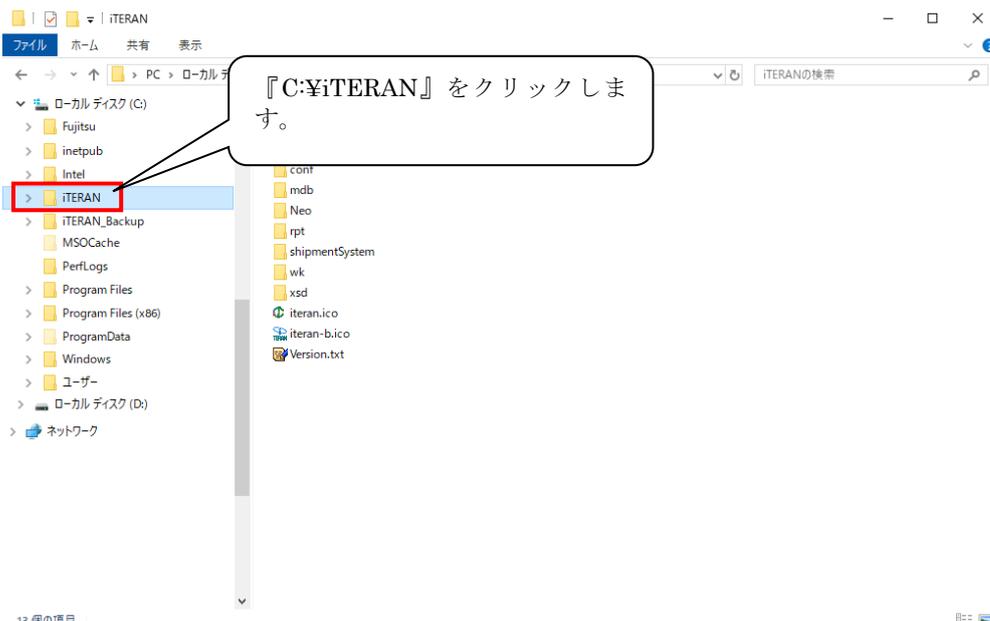
7-1-1. エクスプローラを起動します。

[デスクトップ]の Windows 「スタート」 ボタン上で右クリックし、表示されたメニューから「エクスプローラ」をクリックします。



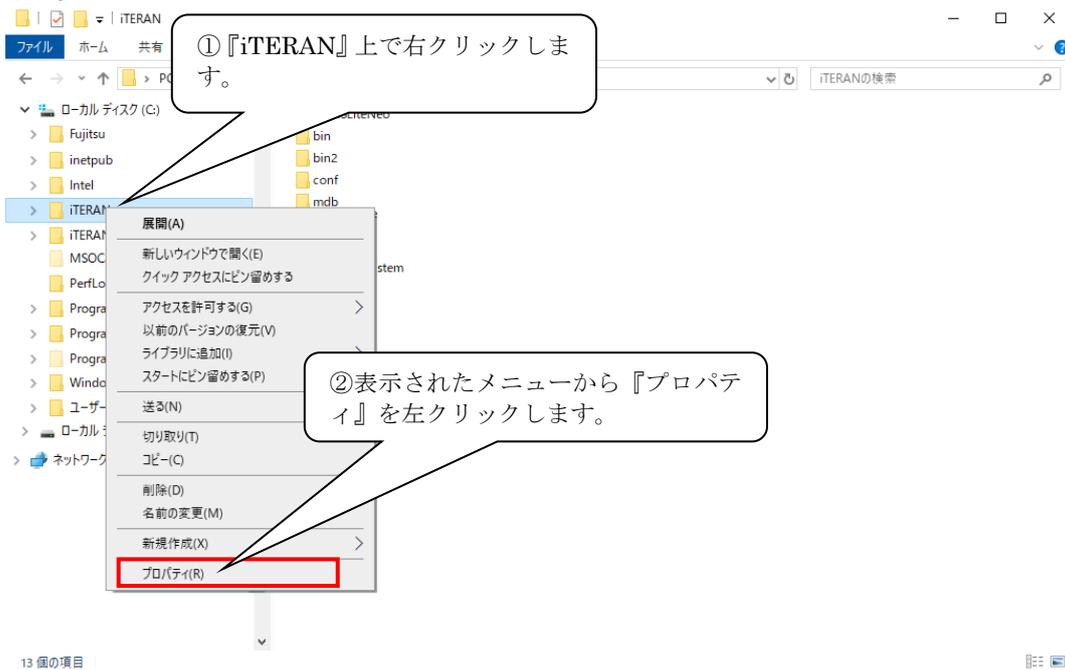
7-1-2. 表示されたエクスプローラから iTERAN/AE のインストールフォルダを選択します。

※ iTERAN/AE の場合のインストール場所「C:¥iTERAN」



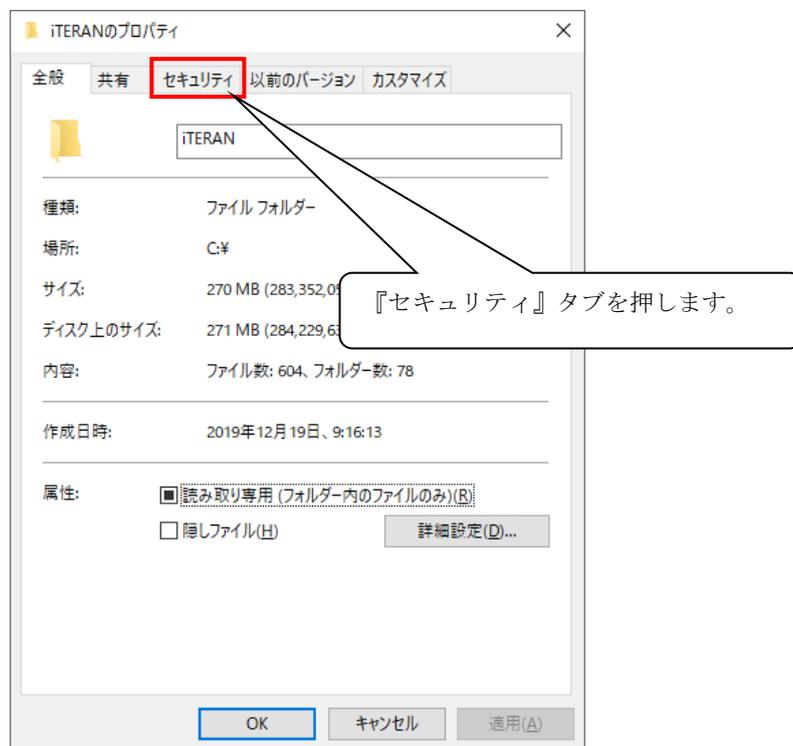
7-1-3. インストールフォルダのプロパティを開きます。

インストールフォルダ上で右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。

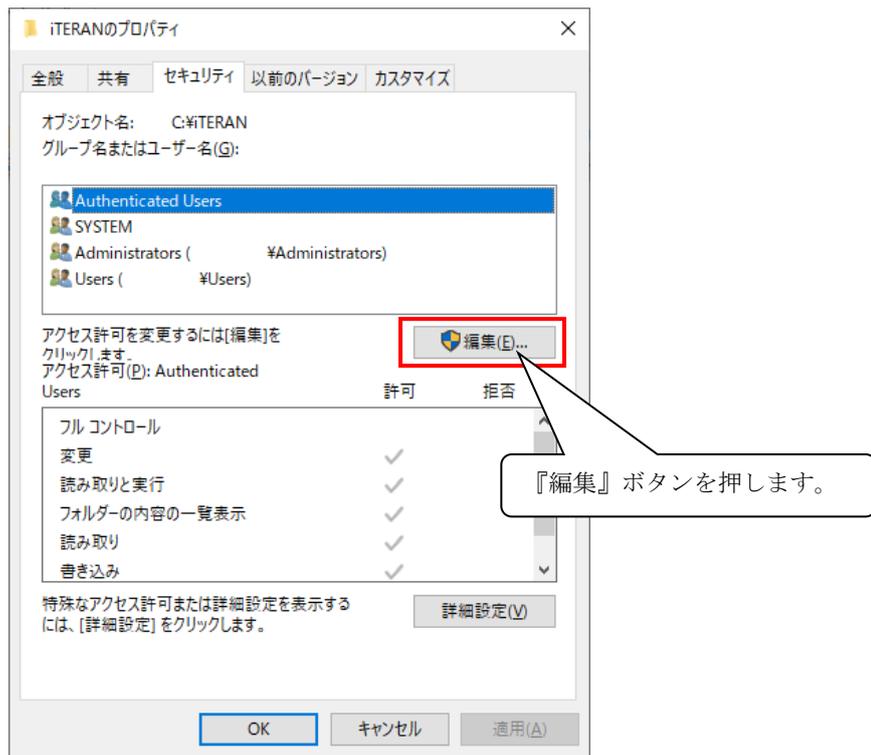


7-1-4. 「iTERAN」フォルダのプロパティウィンドウが開きます。

「セキュリティ」タブを押下します。



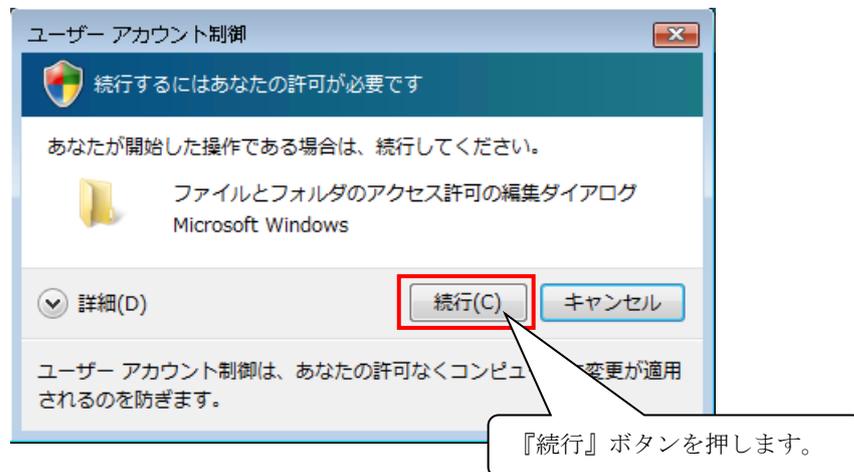
7-1-5. 「セキュリティ」タブ内の「編集」ボタンを押下します。



7-1-6. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

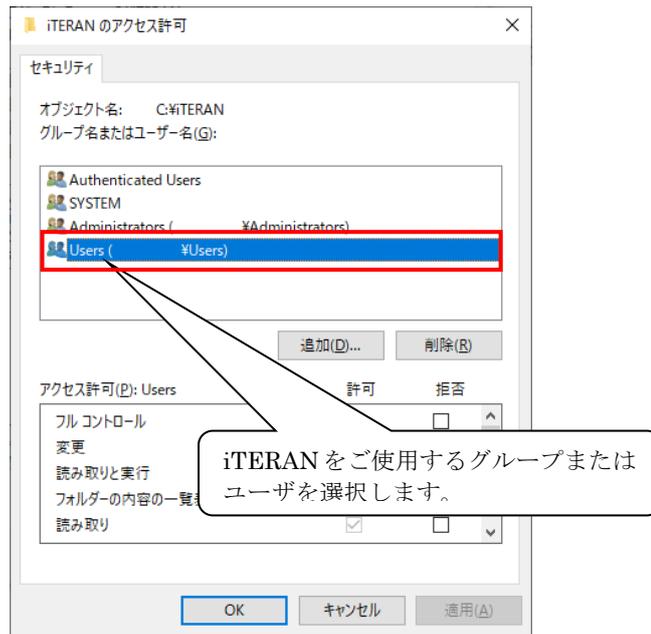
「続行」ボタンを押下してください。

※ 設定により表示されないことがあります。

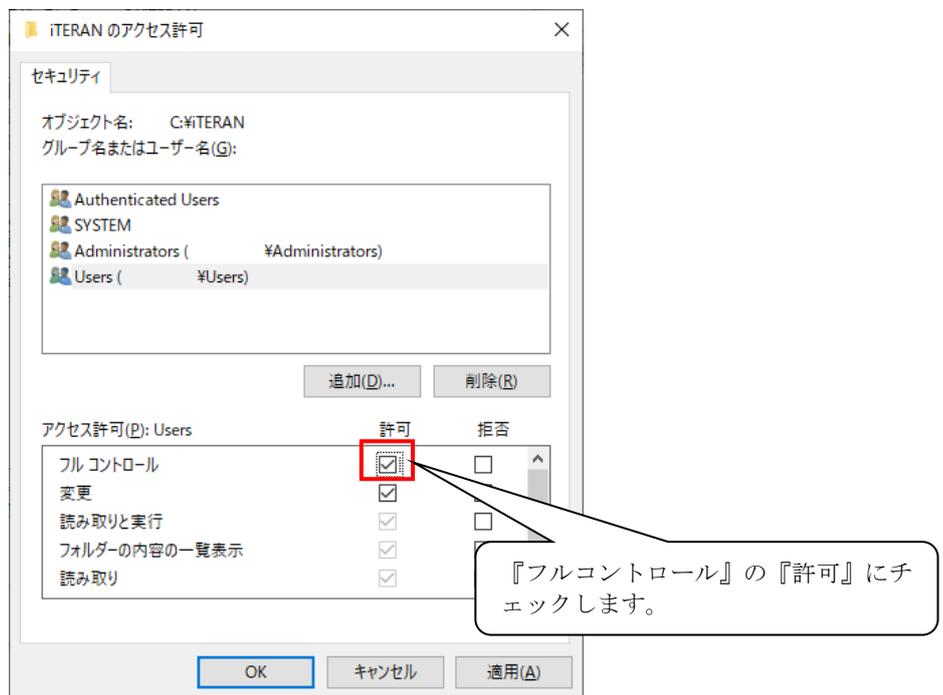


7-1-7. 「iTERAN のアクセス許可」 ウィンドウが表示されます。

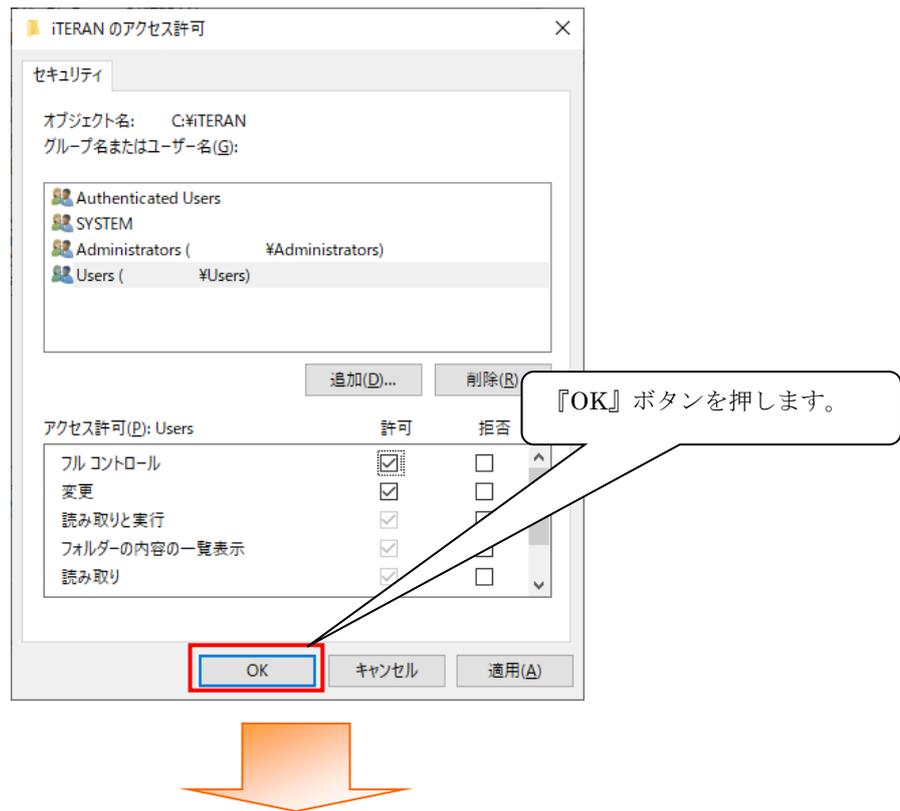
「グループ名またはユーザー名」 から iTERAN を使用するグループまたはユーザーを選択します。



7-1-8. 「○○のアクセス許可」 から[フルコントロール]の「許可」にチェックします。



7-1-9. 「OK」 ボタンを押下し、「iTERAN のアクセス許可」 ウィンドウを閉じます。



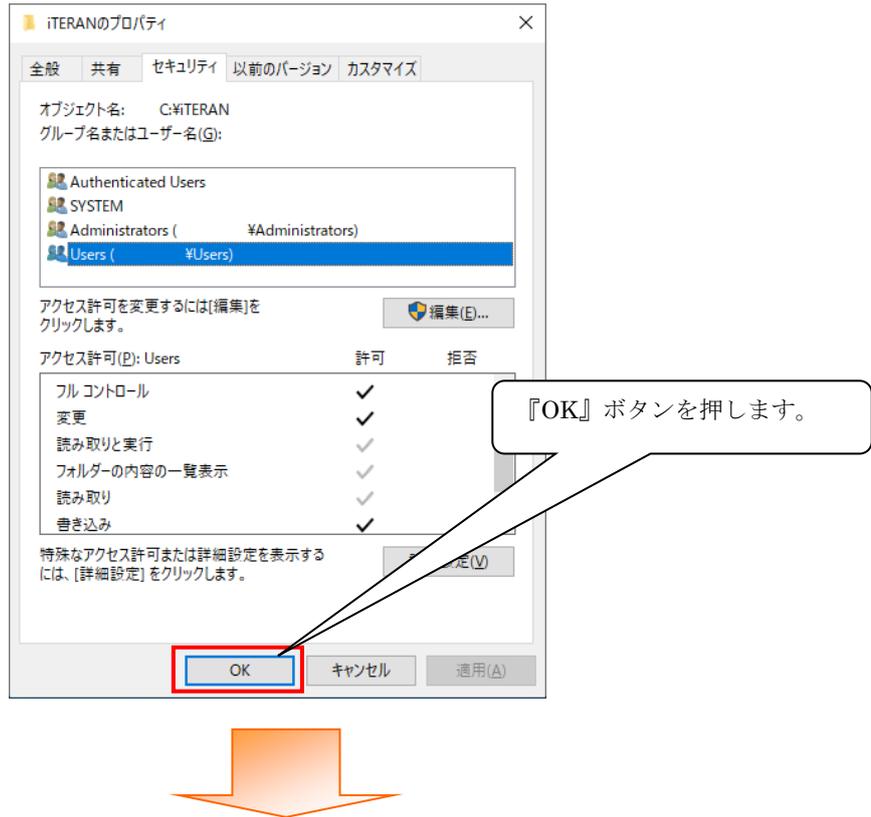
7-1-10. Windows セキュリティウィンドウが表示され、ファイルにプロパティを設定します。

※当ウィンドウ表示時は操作を行わないでください。

※当ウィンドウは処理終了後に自動的に閉じます。



7-1-1.1. 「OK」 ボタンを押下し、「iTERAN」フォルダのプロパティウィンドウを閉じます。



7-1-1.2. 「エクスプローラ」を閉じます。



以上で「iTERAN/AE のインストールフォルダにアクセス許可を付与する」は完了です。

8. 【非 BMS】【非 BMS/BMS 両方利用】レジストリキーへのアクセス許可の付与 (Windows

8.1・10 編)

【BMS】のみをご利用の場合、当手順は行って頂く必要はありません。

【重要】

当手順では Windows のレジストリを編集する必要があります。当操作を誤ると iTERAN/AE だけでなく、Windows 自体が動作しなくなる可能性がありますので、必ず貴社システム管理者の方が行うようにしてください。

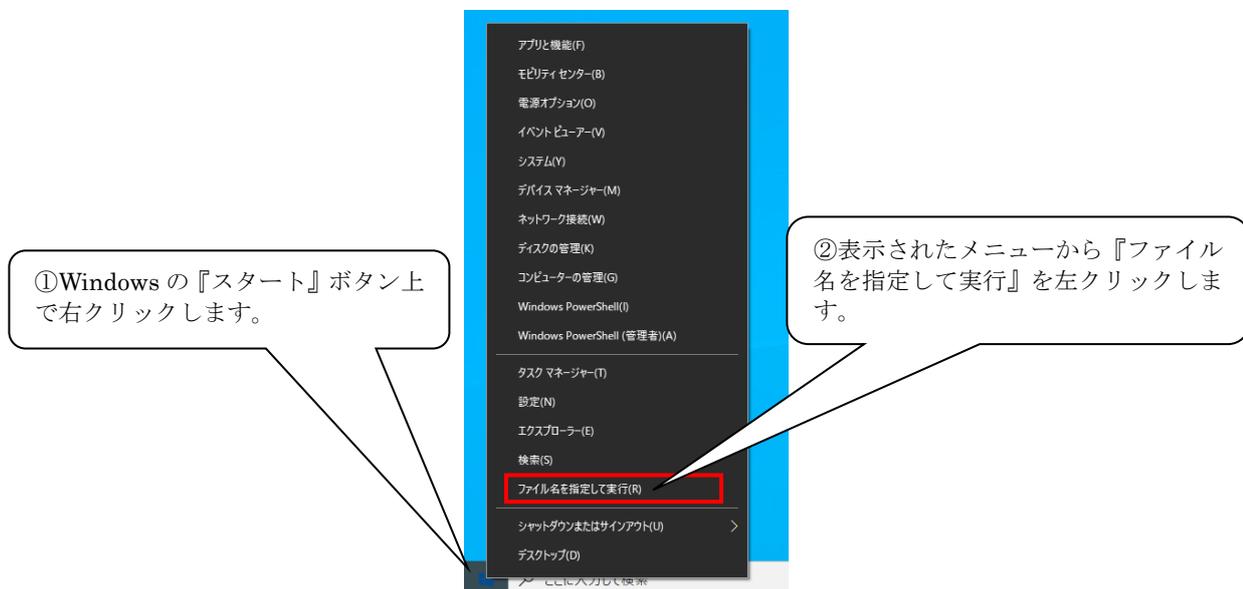
- ※ レジストリの編集前にはバックアップを取得することをお勧めします。
バックアップ方法については Microsoft のサポートページ (WEB) をご確認ください。
- ※ レジストリの編集によって起きた障害 (Windows が正常に動作しなくなった等) につきましては弊社でサポートしかねますので、ご了承ください。

以下の作業は管理者権限を持つユーザで実施してください。

8-1. iTERAN で利用するレジストリキーへのアクセス許可を付与する

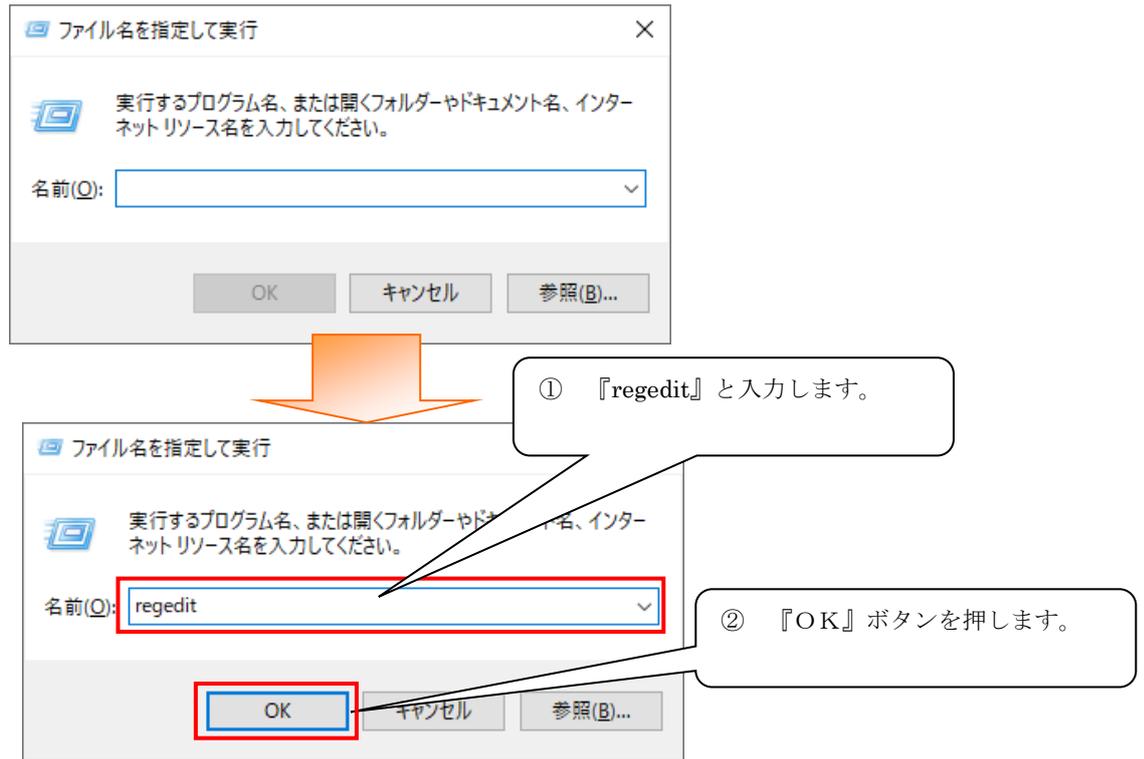
8-1-1. レジストリエディタを起動します。

[デスクトップ]の Windows 「スタート」 ボタン上で右クリックし、表示されたメニューから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。



8-1-2. 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

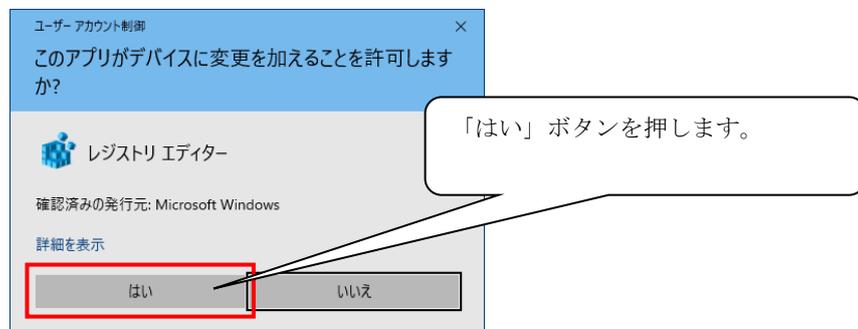
「名前」に「regedit」と入力し、「OK」ボタンを押下します。



8-1-3. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

「はい」ボタンを押下してください。

※ 設定により表示されないことがあります。



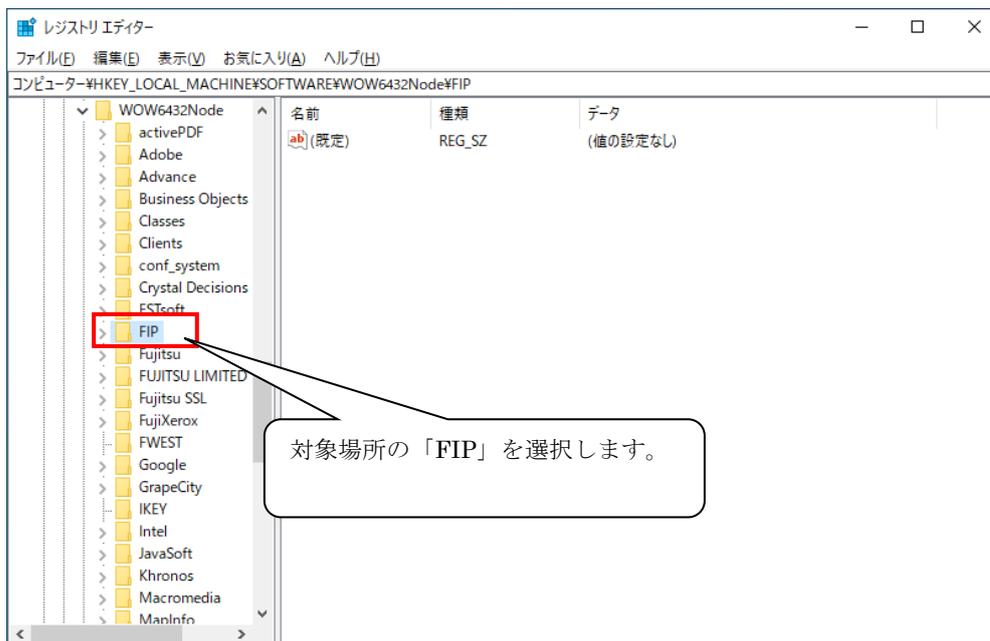
8-1-4. レジストリエディタウィンドウが表示されます。



8-1-5. レジストリエディタの左側のツリーから以下のキーを選択します。

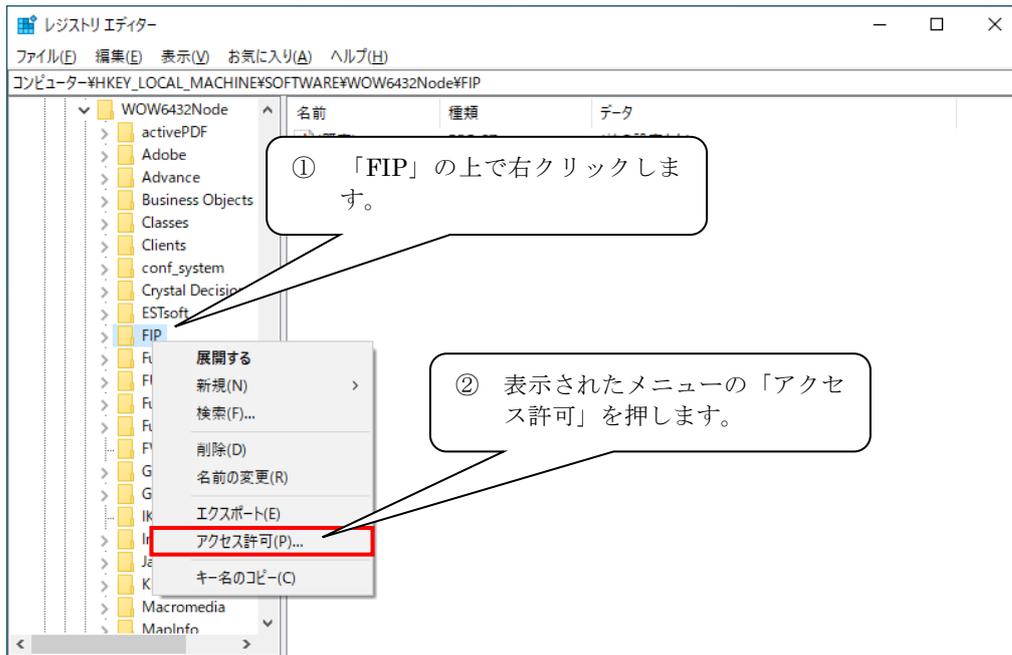
32 ビット版OS の場合 : HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥FIP

64 ビット版OS の場合 : HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥FIP



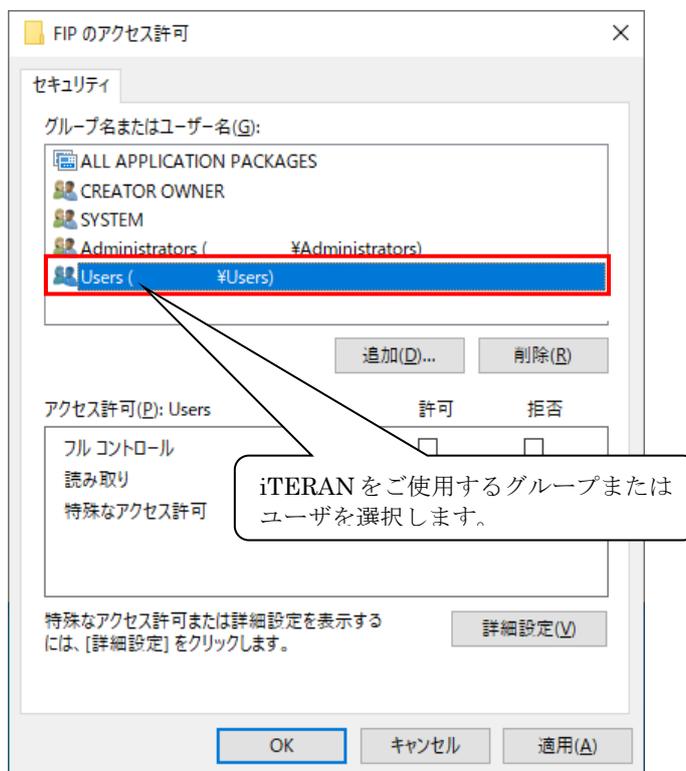
8-1-6. 選択したキー「FIP」上で右クリックしメニューを表示します。

表示されたメニューの「アクセス許可」を押下します。

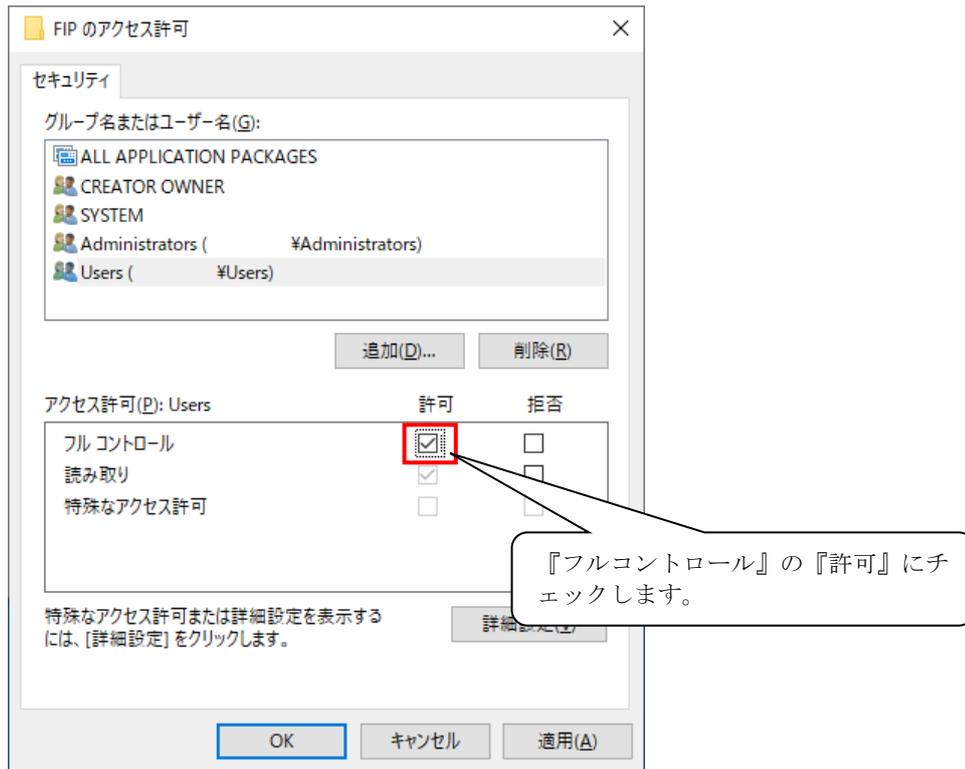


8-1-7. 「FIPのアクセス許可」ウィンドウが表示されます。

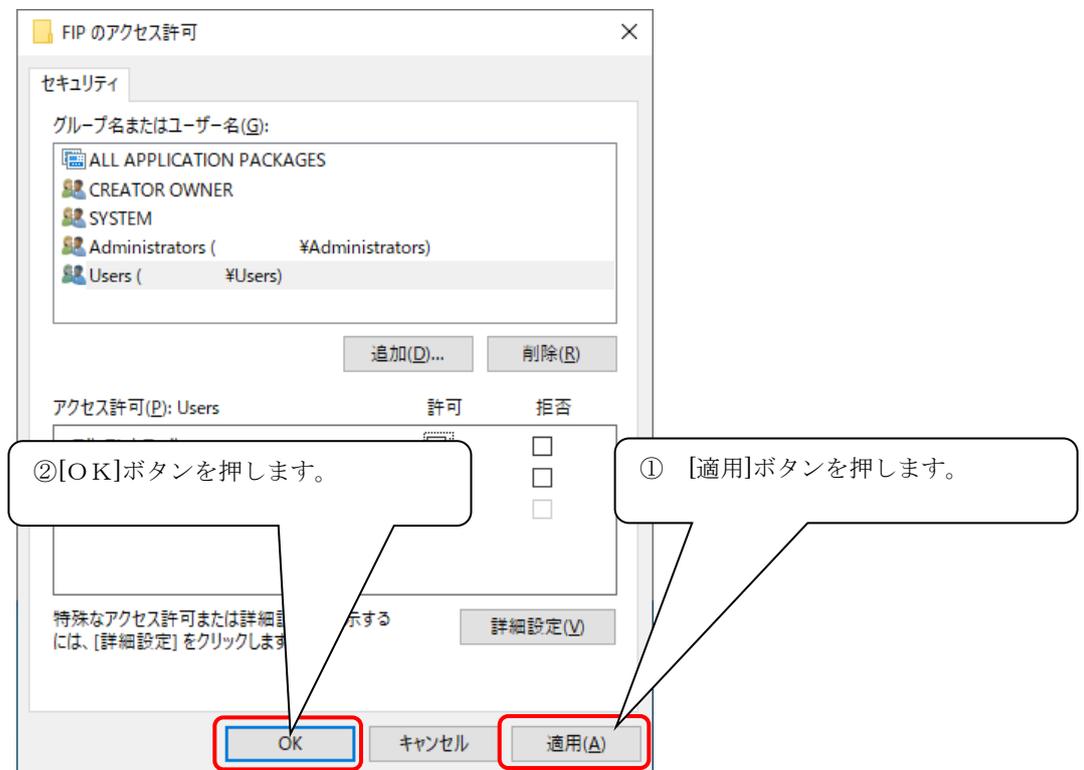
「グループ名またはユーザー名」から iTERAN を使用するグループまたはユーザーを選択します。



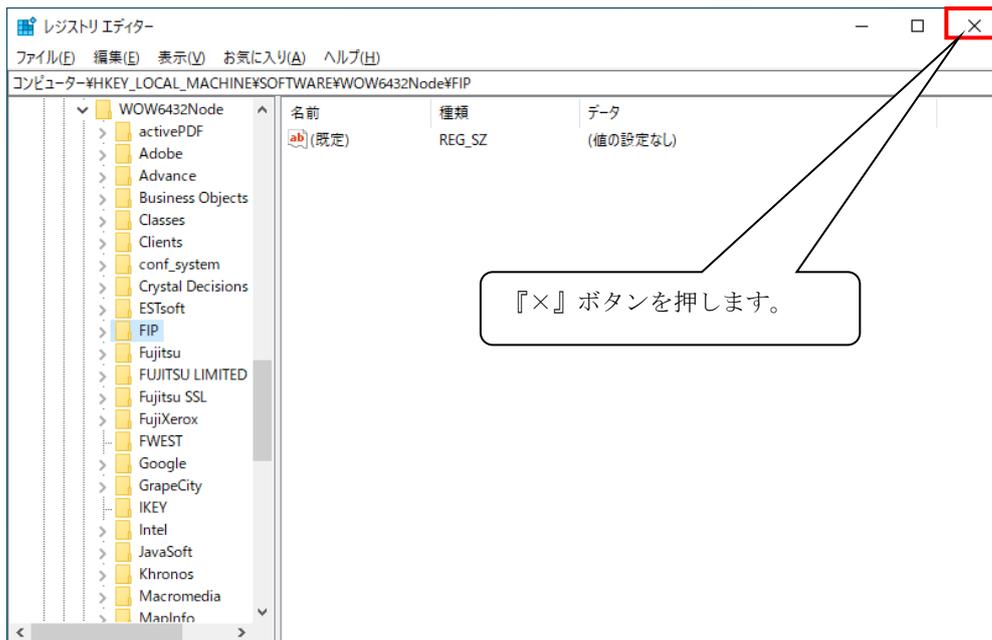
8-1-8. 「○○のアクセス許可」から[フルコントロール]の「許可」にチェックします。



8-1-9. 「適用」ボタンを押下後に「OK」ボタンを押下し当画面を閉じます。



8-1-10. レジストリエディタを閉じます。



以上で「レジストリキーへのアクセス許可の付与」は完了です。

9. **【非 BMS】【非 BMS/BMS 両方利用】** 接続先設定のファイル設定情報確認／更新（OS 共通設定）

【BMS】のみをご利用の場合は当手順は行って頂く必要はありません。

注) 画像は「日生協」パターンファイルでのファイル設定情報の更新方法を記載していますが、他チェーンをご利用の場合も同様の操作となります。

※ご利用チェーンによりファイル設定の「ファイルID」等は異なります。

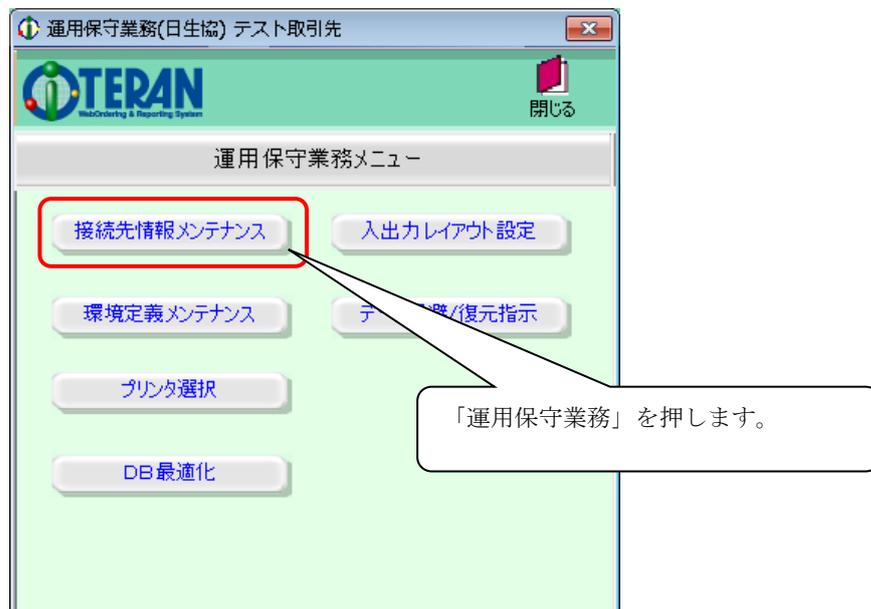
9-1. 接続先設定のファイル設定情報を確認／更新する

9-1-1. iTERAN を起動後、トップメニューの「運用保守業務」を押下します。

※以下作業は利用している**非 BMS 全チェーン**に対して行ってください。



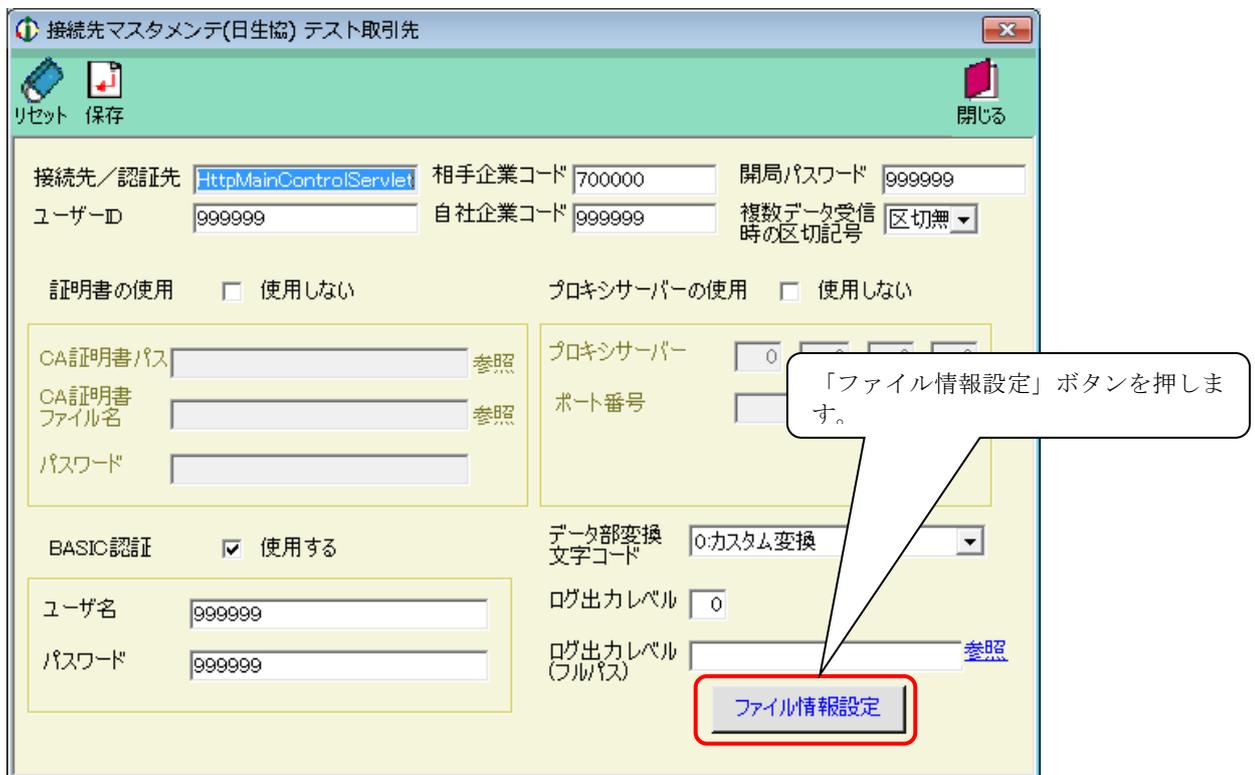
9-1-2. 「運用保守メニュー」画面が開きます。「接続先情報メンテナンス」を押下します。



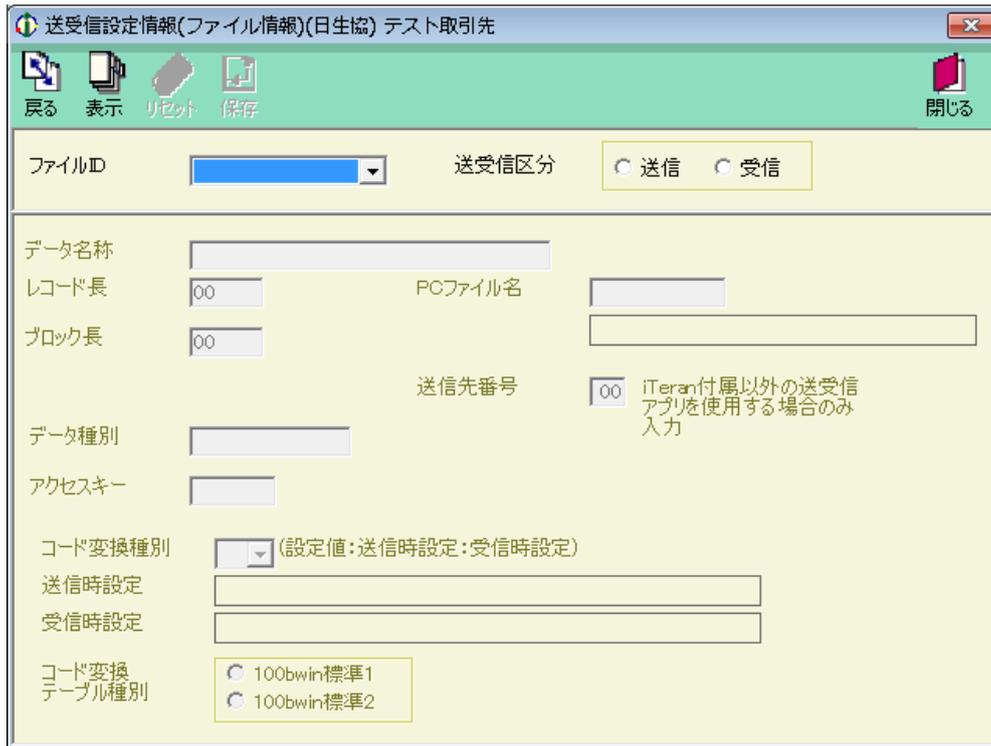
9-1-3. 「送受信設定情報」画面が開きます。「送受信先設定」ボタンを押下します。



9-1-4. 「接続先マスタメンテ」画面が開きます。「ファイル情報設定」ボタンを押下します。

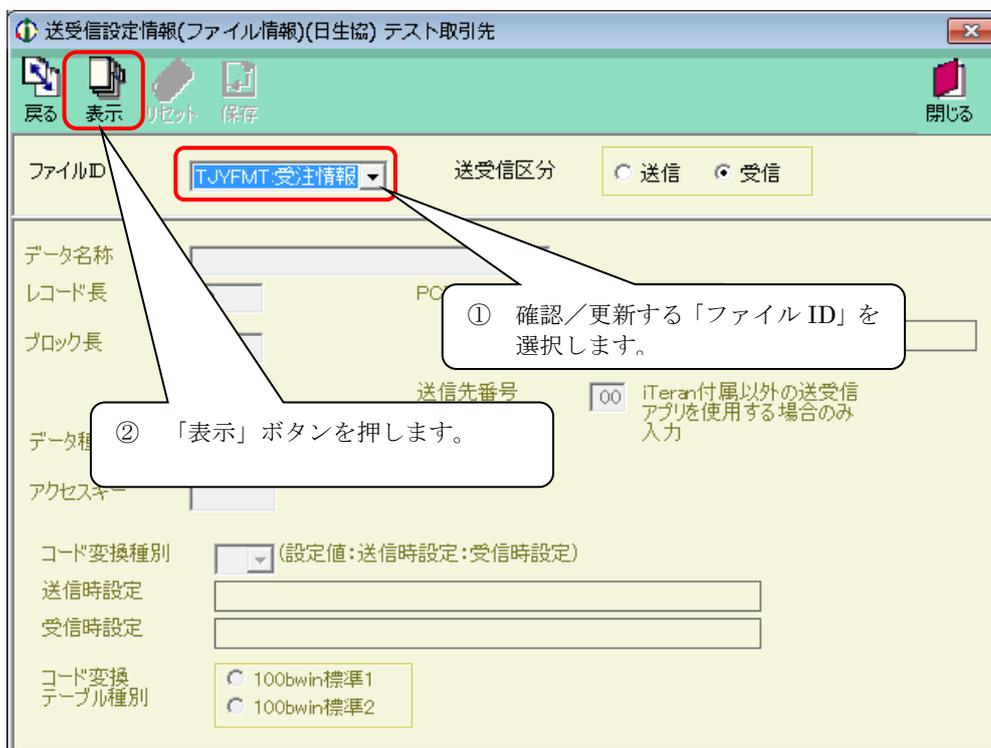


9-1-5. 「送受信設定情報」画面が開きます。



9-1-6. 「ファイルID」を選択し「表示」ボタンを押下します。

※利用していない「ファイルID」を選択する必要はありませんが、
基本的には「ファイルID」リストにある全てにおいて以下作業を実施してください。



9-1-7. 選択した「ファイルID」の情報が表示されます。

「PCファイル名」が「C:¥iTERAN¥wk¥[ファイル名]」になっている場合は更新の必要はありませんので、画面左上の「戻る」ボタンを押下し「9-1-6」に戻ります。

※利用している全ての「ファイルID」を確認/更新した場合は「9-1-11」へお進みください。

送受信設定情報(ファイル情報)(日生協) テスト取引先

戻る 表示 リセット 保存 閉じる

ファイルID: TJJYFMT:受注情報 送受信区分: 送信 受信

データ名称: 受注
 レコード長: 00 PCファイル名: C:#01
 ブロック長: 00 PCファイル名: C:#01.dt0
 データ種別: 01
 アクセスキー:
 コード変換種別:
 送信時設定:
 受信時設定:
 コード変換テーブル種別: 100bwin標準1 100bwin標準2

送信先番号: 00 (iTeran付属以外の送受信アプリを使用する場合のみ)

「PCファイル名」を確認し、
表示されているファイル名をメモしてください。
※画面例の場合、ファイル名は 01 になります。

9-1-8. 「PCファイル名」を「C:¥iTERAN¥wk¥[ファイル名]」に変更します。

送受信設定情報(ファイル情報)(日生協) テスト取引先

戻る 表示 リセット 保存 閉じる

ファイルID: TJJYFMT:受注情報 送受信区分: 送信 受信

データ名称: 受注
 レコード長: 00 PCファイル名: C:¥iTERAN¥wk
 ブロック長: 00 PCファイル名: C:¥iTERAN¥wk¥01.dt0
 データ種別: 01
 アクセスキー:
 コード変換種別:
 送信時設定:
 受信時設定:
 コード変換テーブル種別: 100bwin標準1 100bwin標準2

送信先番号: 00 (iTeran付属以外の送受信アプリを使用する場合のみ)

「PCファイル名」を「C:¥iTERAN¥wk¥[ファイル名]」に変更してください。
※画面例の場合、以下のように変更しています。
変更前: C:¥01
変更後: C:¥iTERAN¥wk¥01

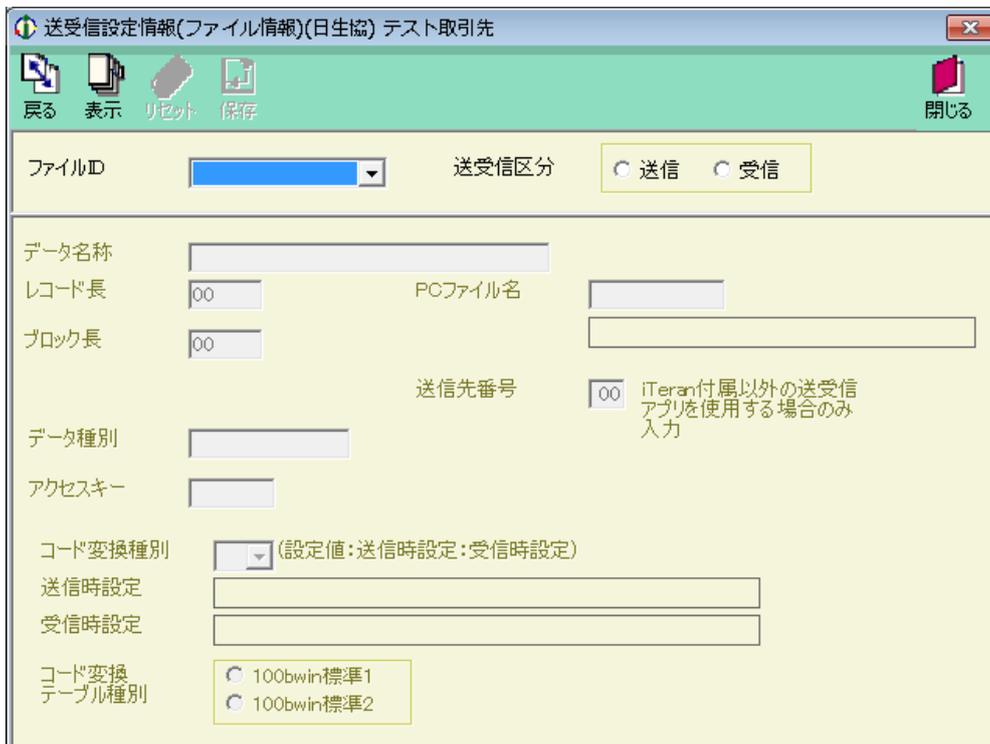
9-1-9. 「保存」 ボタンを押下し設定情報を更新します。



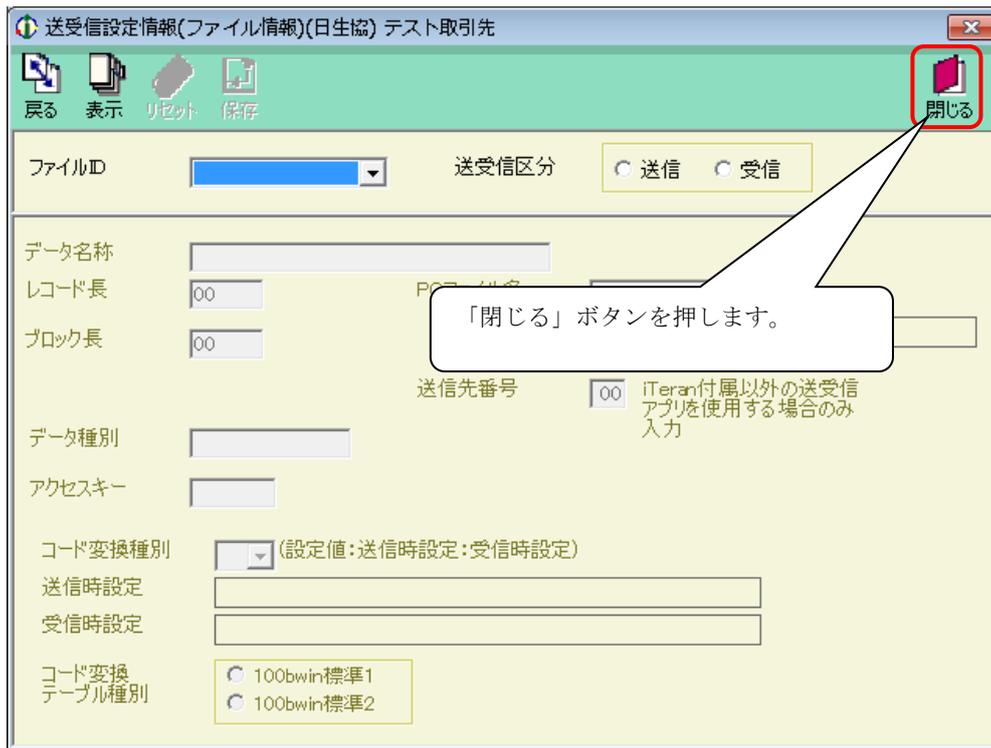
9-1-10. 「送受信設定情報」画面が初期表示に戻ります。

確認／更新していない「ファイルID」がある場合は「9-1-6」に戻ります。

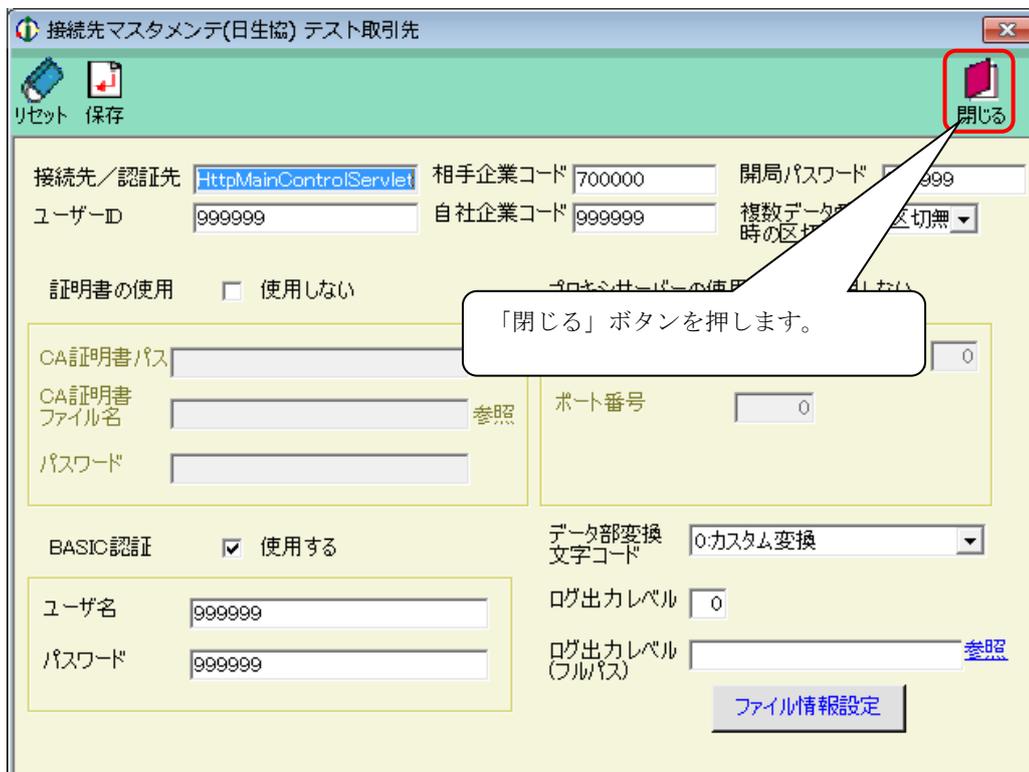
利用している全ての「ファイルID」を確認／更新した場合は「9-1-11」へお進みください。



9-1-11. 利用している全ての「ファイルID」を確認／更新した場合、「閉じる」ボタンを押下し当画面を終了します。



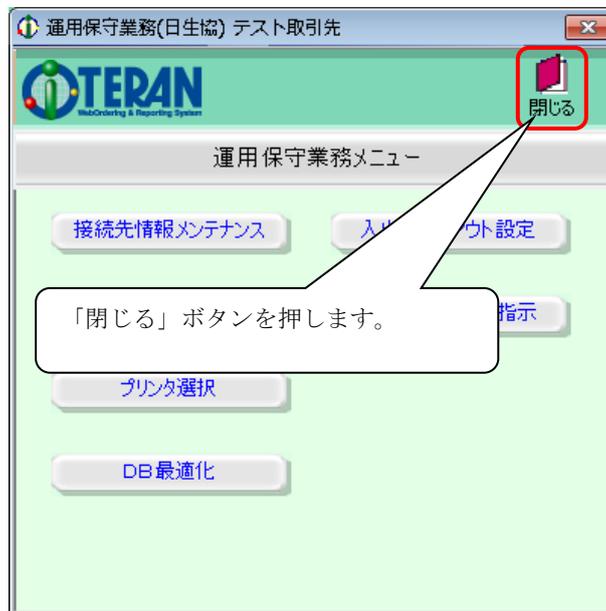
9-1-12. 「接続先マスタメンテ」画面を「閉じる」ボタンを押下し終了します。



9-1-13. 「送受信設定情報」画面を「閉じる」ボタンを押下し終了します。



9-1-14. 「運用保守業務メニュー」画面を「閉じる」ボタンを押下し終了します。



9-1-15. iTERAN トップメニューの「閉じる」ボタンを押下し iTERAN を終了します。



以上で「接続先設定のファイル設定情報確認／更新」は完了です。

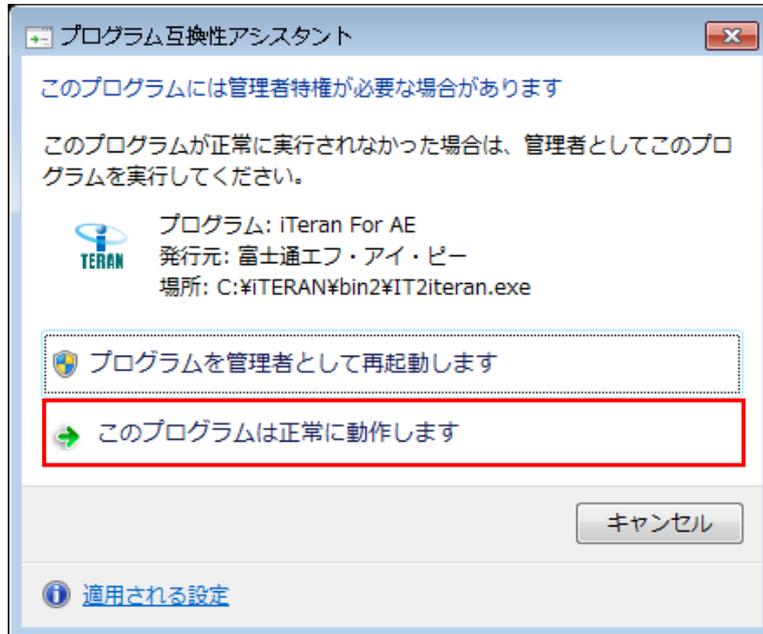
10. iTERAN/AE 起動後の「プログラム互換性アシスタント」の表示について

10-1. iTERAN/AE 起動後の「プログラム互換性アシスタント」表示

iTERAN/AE 起動後に「プログラム互換性アシスタント」が表示される場合があります。

この場合、「このプログラムは正常に動作します」を押下しメッセージを閉じると次回以降表示されません。

※「キャンセル」で当メッセージを終了した場合、次回以降も当メッセージが表示されます。



ご注意

- 本製品の一部または全部を弊社の書面による許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- 本製品の内容・仕様は訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- Microsoft、Windows7、Windows8.1、Windows10 は 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

iTERAN/AE

Copyright© 富士通 Japan 株式会社 2020